JVC

LYT2314-001A-M

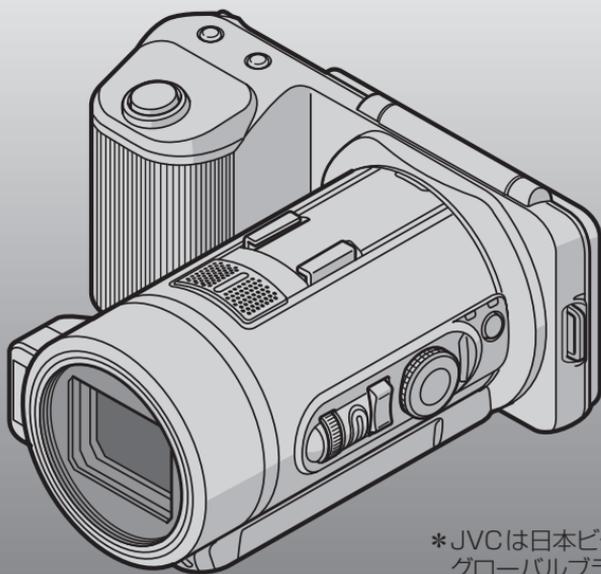
JP

ハイブリッドカメラ

型名 GC-PX1

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に、「安全上のご注意」(P.2)および、「使用上のご注意」(P.78)は、必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

＊JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

実行して欲しいこと

一般的指示

危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。
・幼児の手の届くところには置かないでください。

禁止

変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する

・そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法についてはP.79をご覧ください。)

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

禁止

内部に物を入れない

・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない

・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない

・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない

・本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

⚠ 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む

・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

コンセントやACアダプター（電源プラグ／接続端子）にほこりや金属を付着させない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

5年に1度は内部の点検を販売店に相談する

・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う

・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

ショルダーストラップがゆるんだまま使用しない

・落下によるけがや故障の原因になります。また、お子様は大人と一緒にお使いください。

三脚を確実に取り付ける

・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、しっかりと取り付けてください。

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす

・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

熱源の近くでは、使用しない

・火災や故障の原因になります。

もくじ

付属品を確認する

●SDカードは別売です。本機で使えるカードの種類については、P.17をご覧ください。

※海外でACアダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください(P.13)。

ショルダーストラップを取り付ける

お知らせ

●持ち運びの際は、本機を落とさないよう十分にご注意ください。

●お子様がご使用のときは、保護者の方が十分にご注意ください。

各部の名前とはたらき

シュー
（別売の外部マイクを取り付ける）

ステレオマイク

（静止画 撮影）
シャッターボタン
静止画を撮る（P.22）

ハイスピード撮影ボタン
スローモーションを撮る（P.41）

連写ボタン
連写速度を変えたり、ブラケット撮影に切り替えたりする（P.26）

画面（P.10, 25）

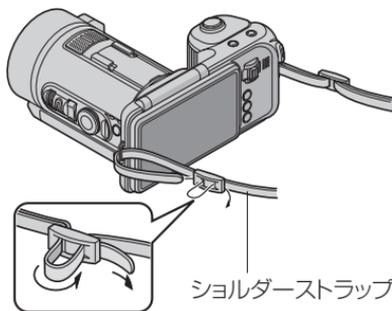
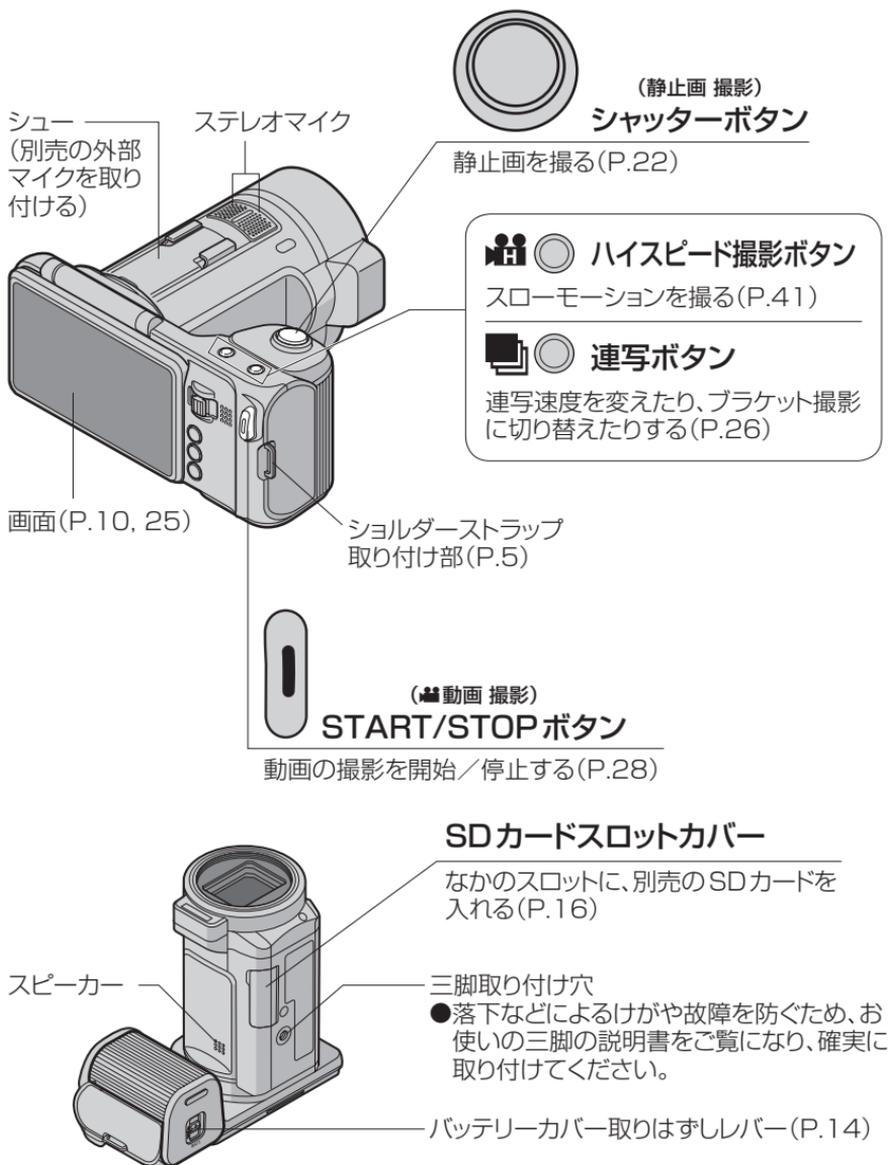
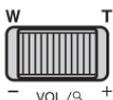
ショルダーストラップ取り付け部（P.5）

（動画 撮影）
START/STOP ボタン
動画の撮影を開始／停止する（P.28）

SD カードスロットカバー
なかのスロットに、別売の SD カードを入れる（P.16）

スピーカー

三脚取り付け穴
- 落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、確実に取り付けてください。

バッテリーカバー取りはずしレバー（P.14）

ズーム／音量レバー

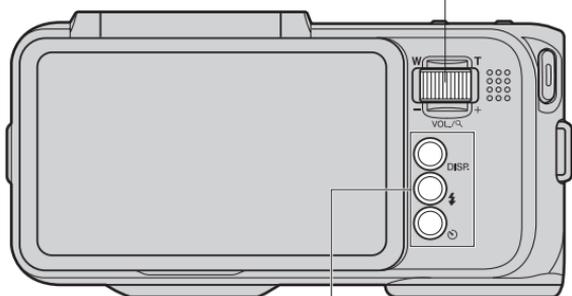
撮影中

拡大／縮小する(P.22, 29)

動画再生中

音量を変える
一覧表示でページを戻る／進む(P.31)

静止画再生中

一覧表示でページを戻る／進む(P.31)
1枚表示で前後へ進む／戻る(P.32)

（表示）

DISP.ボタン

撮影

バッテリー残量を表示する

再生

撮影日などの情報を見る
(静止画のヒストグラムを見る(P.33)

フラッシュボタン

静止画撮影

フラッシュの設定を変える(P.22)

セルフタイマーボタン

静止画撮影

セルフタイマーの時間を変える(P.24)

各部の名前とはたらき

ショルダーストラップ取り付け部（P.5）

フラッシュ（P.22）

（右ページ）

レンズ／電動レンズカバー（さわらない）

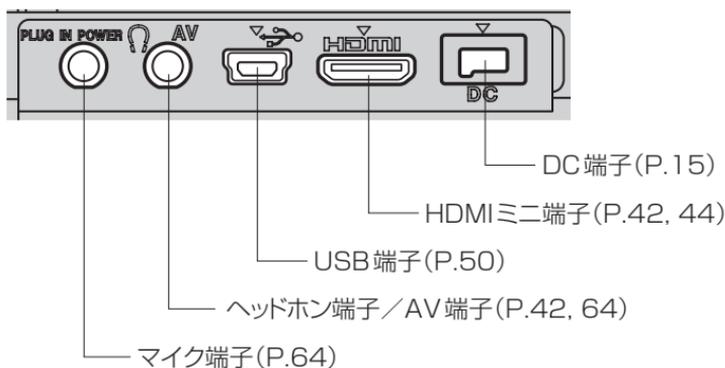
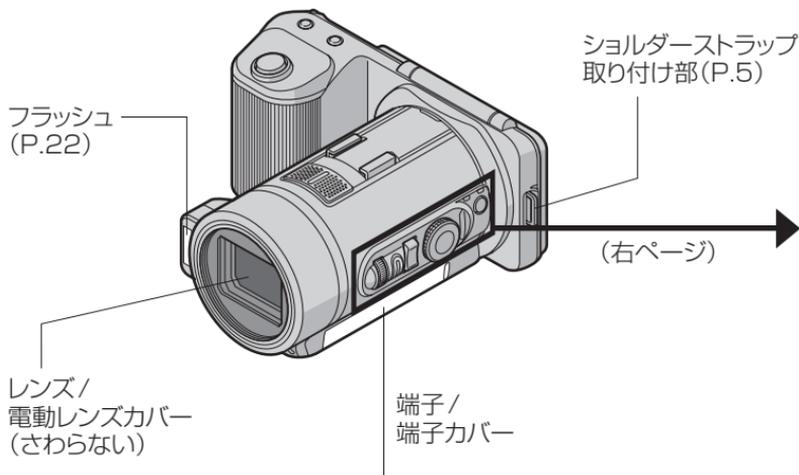
端子／端子カバー

DC端子（P.15）

HDMIミニ端子（P.42, 44）

USB端子（P.50）

ヘッドホン端子／AV端子（P.42, 64）

マイク端子（P.64）

- 本機の静止画や動画をバックアップするには、パソコンに接続します。（P.50）
- DVDライター、DVDレコーダー、ブルーレイレコーダーには、USB接続で動画や静止画をダビングできません。

(アクセス)
ACCESSランプ

点灯/点滅:記録中や再生中

●点灯中や点滅中は、バッテリー、ACアダプター、SDカードを取りはずさないでください。

(電源/充電)
POWER/CHARGEランプ

点灯:電源「入」
点滅:充電中
消灯:充電完了または電源「切」

(露出)
EXPOSUREボタン

撮影ダイヤル:P、A、S

明るさを補正する(P.38)

調節ダイヤル

SET(決定)ボタン

電源ボタン(P.20)

ダイヤルをここに合わせる

(フォーカス)
FOCUSボタン

撮影ダイヤル:i.AUTO、[顔]以外

フォーカスを手動で合わせる(P.27)

(動画/静止画)
[動画]/[静止画]ボタン

動画と静止画を切り替える(P.20)

撮影ダイヤル

撮影

目的に応じた撮影方法を選ぶ

i.AUTO :インテリジェントオート(P.21)
P :プログラムオート(P.38)
A :絞り優先(P.39)
S :シャッタースピード優先(P.39)
M :マニュアル(P.38)
U :ユーザー設定(P.40)
SCN :シーンセレクト(P.34)
[顔] :顔優先/タッチ優先(P.36)

画面の見かた

共通

撮影時

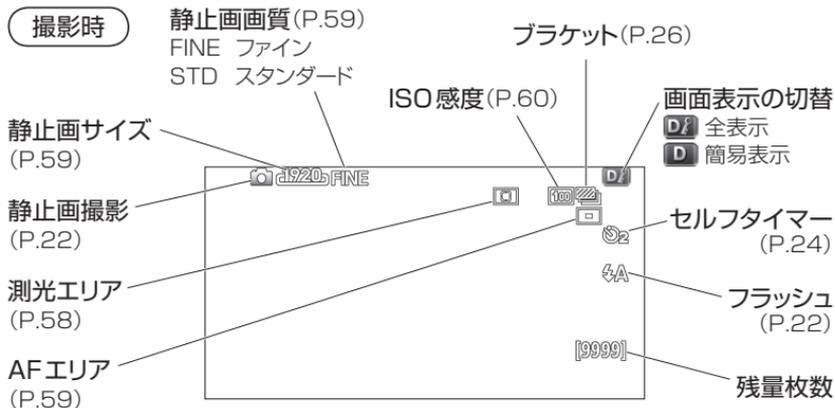
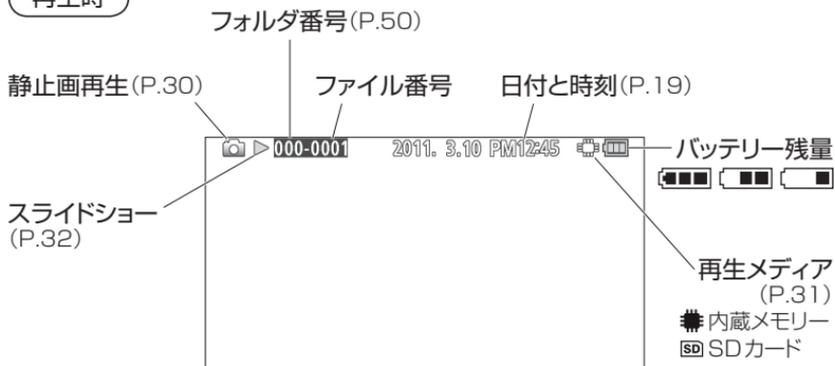
テレマクロ(P.58)
ホワイトバランス(P.58)
逆光補正(P.58)
タッチ優先 AE/AF(P.58)
シーンセレクト(P.34)
手ぶれ補正「切」(P.60, 63)
時刻(P.19)
シャッタースピード(P.39)
記録メディア(P.67)
内蔵メモリー
SDカード
露出補正(P.38)
バッテリー残量
絞り(P.39)
i.AUTO(P.21)
マニュアルフォーカス(P.27)
ズーム倍率(P.62)
連写速度(P.26)
静止画撮影中
フレームインREC(P.60)
モニター明るさ(P.66)
スマイルショット(P.36)
ズーム位置(P.28)

PM12:45
1/4000
±0
F2.8
2X W T
LCD
PHOTO
i.A.

※SDが点滅するとき
➡SDカードを入れるか、記録メディアを「内蔵メモリー」にする(P.67)

タッチパネルを操作するとき

- 少し強めに指を押し当てながら操作します
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください
- 先の鋭い物やかたい物で操作しないでください
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- タッチした場所と反応がずれているとき
  ➡「タッチパネル調整」(P.66)

静止画のとき

■画面の表示を減らすとき

- 画面右上の をタッチし、 を表示させます。
- すべて表示するには、画面右上の をタッチします。

画面の見かた（つづき）

動画のとき

■画面の表示を減らすとき

- 画面右上のをタッチし、を表示させます。
- すべて表示するには、画面右上のをタッチします。

海外で使うときは

訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

本機と付属のACアダプターは、すべての国と地域でご利用いただけます。

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生できます

詳しくは「テレビで見る」（P.42）をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

旅行先を選ぶだけで、日時表示を現地時刻に変更できます

1 **画面の [MENU] をタッチする**

2 **[✱] をタッチする**

3 **[時計合わせ] をタッチする**

4 **[地域設定] をタッチする**

5 **[<] [>] をタッチして、ご使用になる地域の都市名を選ぶ**

6 **[保存] をタッチする**

都市名

ご使用になる地域のGMT（グリニッジ標準時）との時差で選ぶこともできる

■旅行先がサマータイムのとき

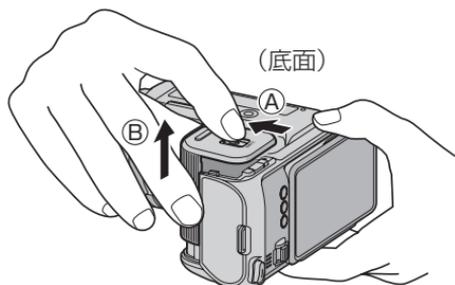
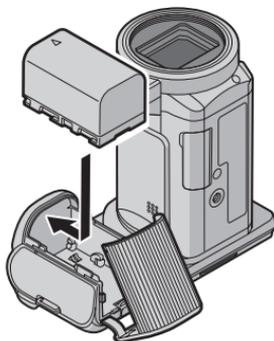
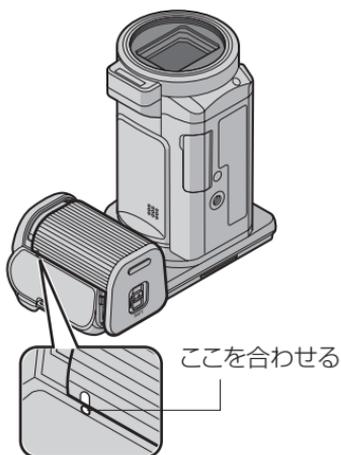
➡（P.66）

■旅行から戻ったとき

➡左の操作を行い、手順⑤で元の都市名を選ぶ

準備 1 バッテリーを充電する

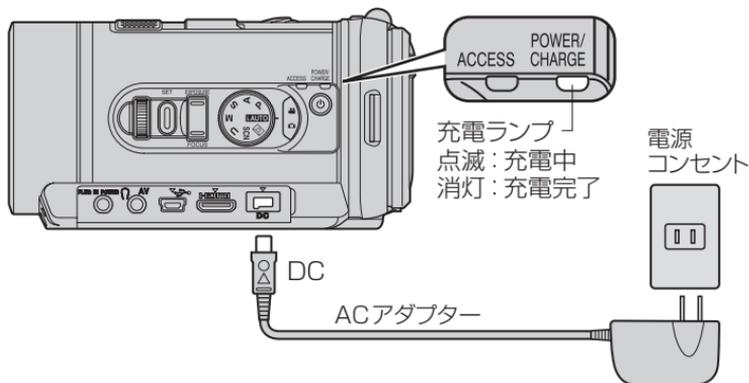
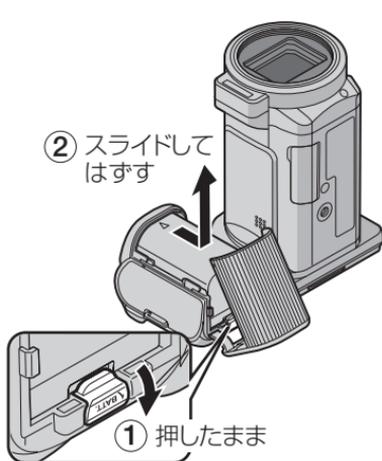
1 Ⓐ方向にスイッチを
スライドしたまま
Ⓑ方向にスライドさせて
カバーを開ける

（底面）
Ⓐ
Ⓑ

2 バッテリーを押し付けて
スライドさせる
（カチッと音がする）

3 本体とカバーの印を
合わせる

4 カバーをスライドする

撮影前に充電しましょう。
（充電が完了していなくても、ACアダプターを接続したまま、
撮影や再生ができます。）

5 ACアダプターを取り付ける

■バッテリーを取りはずすとき

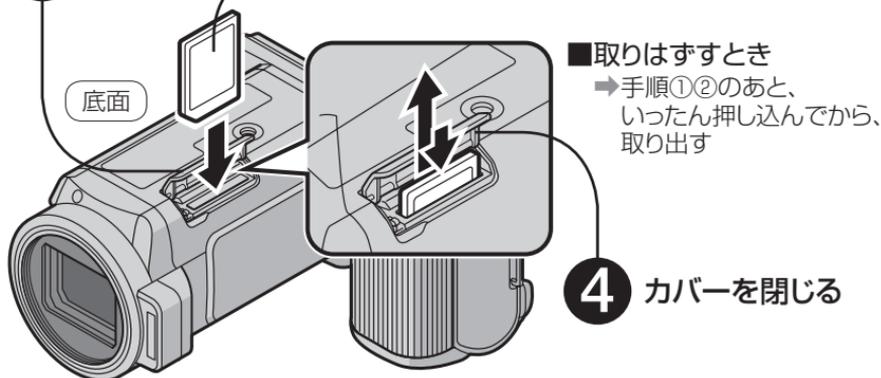
重要！

- **必ずビクター製のバッテリーをお使いください。**
  ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- **電源が入っていると充電できません。**
  バッテリーを充電するときは、電源を切ってください。

お知らせ ●充電時間：約２時間40分（付属バッテリーの場合）
※25℃で使用したときの時間です。室温10℃～35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影･再生可能時間は短くなります。

準備 2

SDカードを入れる

■SDカードをお使いになるときは
・「動作確認済みのSDカード」(P.17)をお使いください。
・データの消失を防ぐため、SDカードを出し入れする前に、必ず電源を切ってください。

1 電源が入っているときは、電源を切る(P.20)

■静止画や動画の記録先をSDカードにするとき
➡「静止画記録メディア」(P.67)
➡「動画記録メディア」(P.67)

■SDXCカードを使うとき
➡お使いのパソコンのOSを確かめる(P.18)

内蔵メモリーがファイル（動画と静止画）でいっぱいになっても、市販のSDカードを使って撮影を続けられます。

動作確認済みのSDカード

下記以外のメーカーのカードを使うと、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

メーカー	パナソニック（Panasonic）、東芝（TOSHIBA）、サンディスク（SanDisk）、ATP ※1、Eye-Fi ※2
SDカード ※3	Class 4以上のSDカード（2GB）
	Class 4以上のSDHCカード（4GB～32GB）
	Class 4以上のSDXCカード（48GB～64GB）
Eye-Fi	Eye-Fi Connect X2、Eye-Fi Explore X2、Eye-Fi Pro X2

※1：ATPの場合、SDHCカードのみ動作確認済みです。
※2：Eye-Fiカードは、無線LANを内蔵するカードです（P.52）。
※3：画質「UHR」で動画を撮影するときは、Class 6以上のカードが必要です。

■SDカードに静止画だけを記録するとき

➡256MB以上のSDカード、Class 2のSDHCカードやSDXCカードも利用できます。ただし、連写の保存などに時間がかかります。

本機ではじめて使うSDカードはフォーマットする

準備 ●データが消去されるため、ほかの機器で使ったSDカードを使うときは、SDカード内のファイルをほかの機器にコピーする

❶ **電源ボタンを押す（P.20）**
（電源が入る）

❷ **画面の [MENU] をタッチする**
（メニューが表示される）

❸ **画面の [✲] をタッチする**

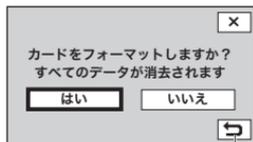
❹ **画面の [SDフォーマット] をタッチする**

❺ **画面の [ファイル] をタッチする**

❻ **画面の [はい] をタッチする**

中止するとき

❼ **画面の [OK] をタッチする**

準備 2（つづき） SDカードを入れる（つづき）

SDXCカードを使うときはパソコンのOSを確かめる

パソコンのOSによっては、SDXCカードに記録した動画や静止画を読み取れないことがあります。
お使いのパソコンのOSの対応状況を確認し、必要に応じてアップデートしてください。お使いのパソコンのOSの調べかたについては、「パソコンの性能を確かめる」（P.54）をご覧ください。

■Windows XPのとき

SP2以降にアップデートしたのち、更新プログラム（KB955704）をインストールしてください。

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=1CBE3906-DDD1-4CA2-B727-C2DFF5E30F61&displaylang=ja

■Windows Vistaのとき

SP1以降にアップデート後したのち、更新プログラム（KB975823）をインストールしてください。

●32bit版

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=2d1abe01-0942-4f8a-abb2-2ad529de00a1

●64bit版

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=7d54c53f-017c-4ea5-ae08-34c3452ba315

■Windows 7のとき

更新プログラム（KB976422）をインストールしてください。

●32bit版

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=3ee91fc2-a9bc-4ee1-aca3-2a9aff5915ea

●64bit版

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=73f766dd-7127-4445-b860-47084587155f

■Mac OS X 10.4 TigerまたはMac OS X 10.5 Leopardのとき

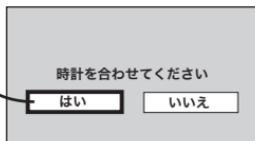
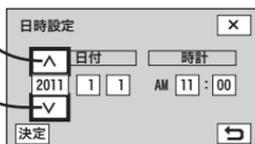
対応していません。

■Mac OS X 10.6 Snow Leopardのとき

Mac OS X 10.6.5以降にアップデートしてください。

準備 3
時計を合わせる

1 電源ボタンを押す
（電源が入る）

2 [はい] をタッチする

3 西暦の上下の [∧] [∨] をタッチして合わせる

4 月の欄をタッチし、手順❸の操作で合わせる
●同様に日付と時刻を合わせます。

5 すべての設定が終わったら、[決定] をタッチする

6 [<] [>] をタッチして、ご使用になる地域の都市名を選ぶ
●日本では、図のとおり。

7 [保存] をタッチする

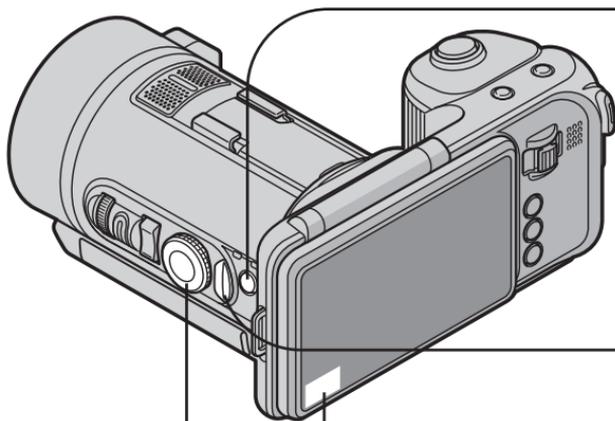
■海外で使うとき ➡(P.13)

■サマータイムが実施中の地域で使うとき ➡(P.66)

■時計を合わせ直すとき
➡「時計合わせ」(P.66)

お知らせ ●長期間使用しないと「時計を合わせてください」と表示されます。24時間以上充電してから、時計を設定してください。

準備 4 基本操作を覚えよう

準備 ●バッテリーを取り付ける(P.14)

■撮影する前に

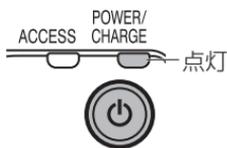
➡試し撮りすることをおすすめします

■撮影したあとは

➡万一に備えて、画像をパソコンなどに定期的に保存してください(P.50)

お知らせ

●はじめて撮影するときは、時計を設定します(P.19)。

この操作は、撮影や再生・編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、準 備の操作として説明を省略しています。

押すと、電源を入／切できる

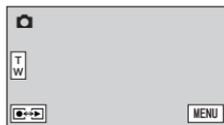
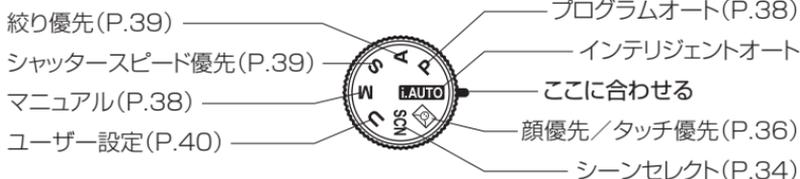
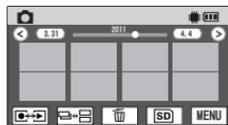
- 電源を切ってから5分以内に電源ボタンを押すと、すぐに電源が入ります。（高速起動が「高速2」のとき（P.66））
- 節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。（バッテリー使用時のみ）

押す度に、切り替わる

■動画

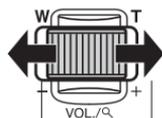
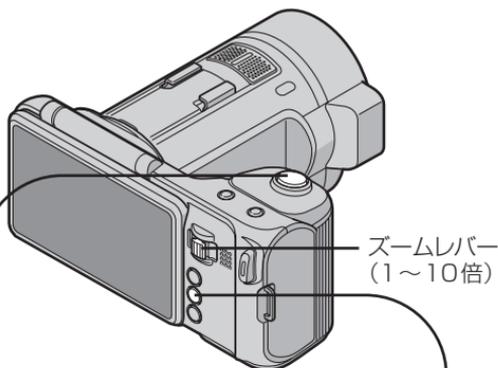
■静止画

タッチする度に、切り替わる

■撮影モードのとき

■再生モードのとき

■かんたんに撮影するとき

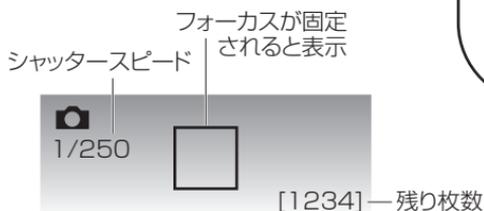
➡撮影ダイヤルをインテリジェントオート（i.AUTO）に合わせる。
撮影状況に合わせて、絞りやフォーカスが自動調整されます。
逆光（ ）、夜景（ ）、人物（ ）の撮影など、特定の撮影場面では場面に応じたアイコンが画面に表示されます。（P.45）

撮影
再生
1 静止画を撮る

●🎥/📷ボタン：📷静止画モード
●撮影モード

●デジタルズームは使用できません。

■手ぶれを防ぐとき
➡「手ぶれ補正」（P.60）

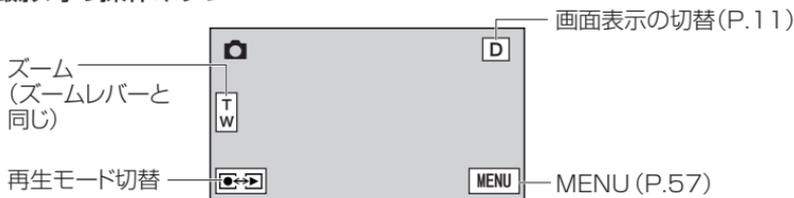
1 **シャッターボタンを半押しする**
（フォーカスが固定される）

フォーカスが固定されると表示
シャッタースピード
1/250
[1234]— 残り枚数

2 **全押しする**
（シャッターを切る）

●撮影した静止画をすぐに確認したいときは、シャッターボタンを押し続けます。

フラッシュの設定を変える
フラッシュ

撮影ダイヤルをインテリジェントオート(i.AUTO)に合わせると(P.21)、
撮影状況に合わせて、絞りやフォーカスが自動調整されます。

■撮影時の操作ボタン

■再生モードから撮影モードに戻るとき
➡静止画再生モード時に、シャッターボタンを押す

■画像サイズや画質を変更するとき
➡「静止画サイズ」(P.59)
➡「静止画画質」(P.59)

■SDカードに静止画を保存するとき
➡「静止画記録メディア」(P.67)

■笑顔を撮るとき
➡「スマイルショット」(P.36)

■バッテリー残量を調べるとき
➡DISP.ボタンを押す(P.7)

● ボタンをを押す度に…

- ⚡A:オート
  ↓(周囲が暗いと自動的に発光)
- ⚡A👁:オート赤目
  ↓(連続発光で赤目を軽減)
- ⚡:強制発光
  ↓
- ⚡S:スローシンクロ
  ↓(発光し、シャッタースピードを遅くして、人物と背景をともに明るく撮影)
- 🚫:切(発光しない)

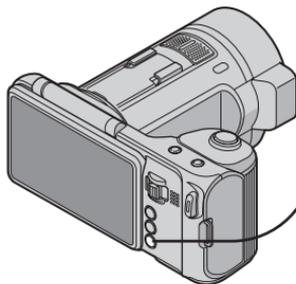
● ⚡が点滅するとき
➡連写やブラケットのとき(P.26)は、1枚撮影に戻す
➡その他のときは、点灯するまで待つ(フラッシュ充電中)

●フラッシュを使っても暗く感じるとき
➡メニューの「ISO感度」を「800」以上にする(P.60)

●撮影ダイヤルが「SCN」のとき
➡設定値(P.35)にあわせて、フラッシュの発光を本機が自動的に判断する

静止画を撮る（つづき）

セルフタイマーで撮る

準備 ●🎥/📷ボタン：📷静止画モード
●撮影モード

●⏱ボタンを押す度に…

⏱2：2秒タイマー
↓（シャッターボタンを押して、2秒後に撮影する）
⏱10：10秒タイマー
↓（シャッターボタンを押して、10秒後に撮影する）
⏱顔：顔検出
↓（記念撮影に使う）
（なし）：セルフタイマー「切」

■顔検出を使うとき

(1) 全員が本機に向いていることを確認する

(2) シャッターボタンを押す

顔に枠が付く

(3) 撮影者が画面内に入る

撮影者

3秒後に撮影

•顔検出で撮影が始まらないときは、シャッターボタンを押してください。10秒後に撮影されます。

■カウントダウンを中止するとき

➡カウントダウン中に、シャッターボタンを押す

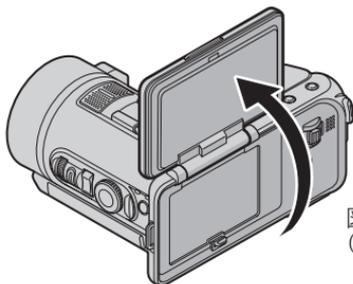
お知らせ

●三脚や台などの上に本機を置いてセルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押した瞬間の手ぶれを防ぐことができます。

●セルフタイマーの使用中は、連写できません。

記念撮影の際は、セルフタイマーの顔検出を使い、
画面を前方に向けると便利です。

自分を撮る（対面撮影）

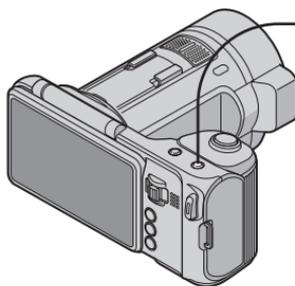
画面を１８０度回転すると、自分を撮るときに役立ちます。

図の方向に画面を起こします。
（元に戻すときは、逆の方向に画面を倒します。）

■使い方の例

（1）三脚で本機を固定する
（2）セルフタイマーで１０秒タイマーまたは顔検出を選択する（P.24）
（3）画面を起こす（上図）
（4）シャッターボタンを押す
（5）撮影者が画面内に入る

静止画を撮る（つづき）

連写する／明るさを変えて撮る（ブラケット）

準備 ●動画/静止画ボタン：どちらでも（ブラケットは静止画のみ）
●撮影モード

●連写ボタンを押す度に…

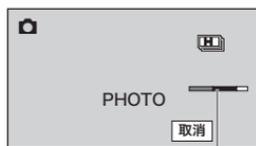
L：低速連写
↓（空き容量がなくなるまで連写できる）
M：中速連写
↓（最大枚数：静止画103枚、動画144枚）
（連写速度：静止画7枚／秒、動画15枚／秒）
H：高速連写
↓（最大枚数：静止画103枚、動画144枚）
（連写速度：静止画30枚／秒、動画60枚／秒）
ブラケット：ブラケット
↓（明るさを変えて5枚連写する）
（なし）：1枚撮影

■連写にしたとき

➡シャッターボタンを押し続けると、連写する

■ブラケットにしたとき

➡シャッターボタンを押すと、次の順に5枚を連写する
- •普通の明るさ
- •暗め(-0.6EV)
- •少し暗め(-0.3EV)
- •少し明るめ(+0.3EV)
- •明るめ(+0.6EV)

撮影順

赤色：連写中の容量
緑色：保存中の容量
※速度「L」のときは、表示されません。

お知らせ
- ●連写速度「L」は、連写し続けると速度が低下します。
- ●動画の撮影中に連写すると、一時的に連写速度「L」になります。
- ●撮影ダイヤルを「SCN」にすると、「ブラケット」が解除されて「1枚撮影」になります。
- ●静止画モードでシャッターボタンを半押ししてから撮影する場合、シャッターボタンを押す瞬間（最大0.5秒）の撮り逃しを減らすことができます。（連写速度「M」「H」のみ）

ブラケットは静止画のみの機能です。
静止画の連写と、マニュアルフォーカスは、動画でも利用できます。

フォーカスを調整する（マニュアルフォーカス）

準備 ●動画/静止画ボタン：どちらでも
●撮影モード：[撮影ダイヤル P, A, S, M, U, SCN]

1 回して合わせる

2 FOCUSボタンを押す

3 調節ダイヤルでフォーカス（ピント）を合わせる
➡▲：遠距離
➡人：近距離

4 SETボタンを押す
（フォーカスが固定される）

5 撮影する（P.22, 28）

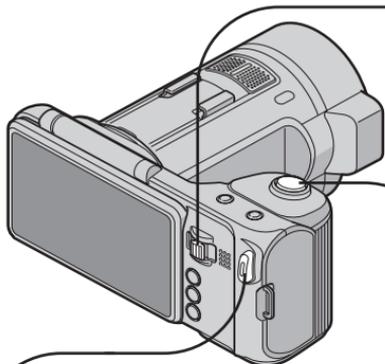
■調整し直すとき
➡手順②からやり直す

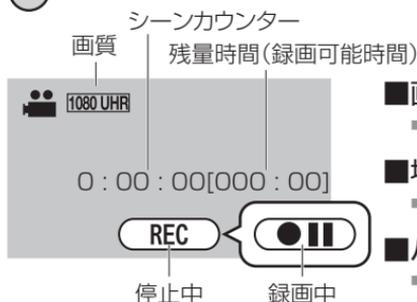
■オートフォーカス（自動調整）に戻すとき
➡手順④でFOCUSボタンを押し、▲と人を消す

お知らせ ●ズームを使うときは、望遠（T）でフォーカスを合わせてから広角（W）にすると、フォーカスがずれません。

撮影再生 2

動画を撮る

準備 ●🎥/📷ボタン：🎥動画モード
●撮影モード

1 START/STOPボタンを押す

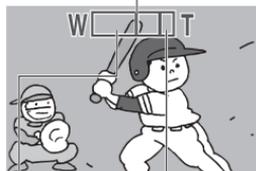
（撮影を開始）
（もう一度押すと停止）

■画質を変更するとき
➡「動画画質」（P.62, 85）

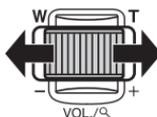
■場面や状況に合わせるとき
➡「シーンセレクト」（P.34）

■バッテリー残量を調べるとき
➡ DISP. ボタンを押す（P.7）

■手ぶれを防ぐとき
➡「手ぶれ補正」（P.63）

お知らせ
●連続して12時間撮影すると、自動的に停止します。
●長時間の連続撮影では、自動的に30分ごと、または最大4GBのファイルで分割されます。

撮影ダイヤルをインテリジェントオート（i.AUTO）に合わせると（P.21）、撮影状況に合わせて、絞りやフォーカスが自動調整されます。

デジタルズームなど（11倍～64倍）

ズーム（1～10倍）

●デジタルズームなどを使うとき
➡（P.62）

静止画を記録中

■静止画サイズは
➡「3200×1800」（画面比は16：9）に固定される

■連写するとき ➡（P.26）

お知らせ

●ダイナミックズームまたはデジタルズームの使用時は利用できません。
●フラッシュやセルフタイマーなど、静止画専用の機能は利用できません。

■撮影時の操作ボタン

撮影再生 3

静止画や動画を見る

1 押して、静止画（📷）または動画（🎥）を選ぶ

2 [●↔▶] をタッチし、再生モードにする

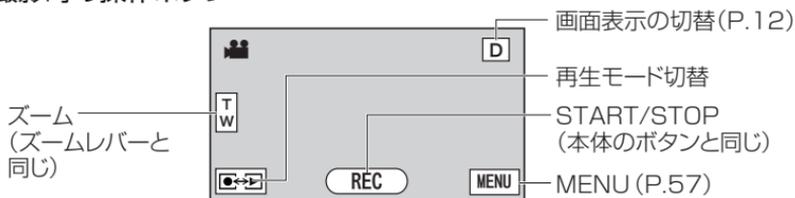
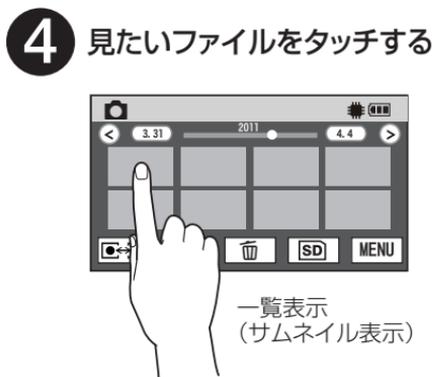
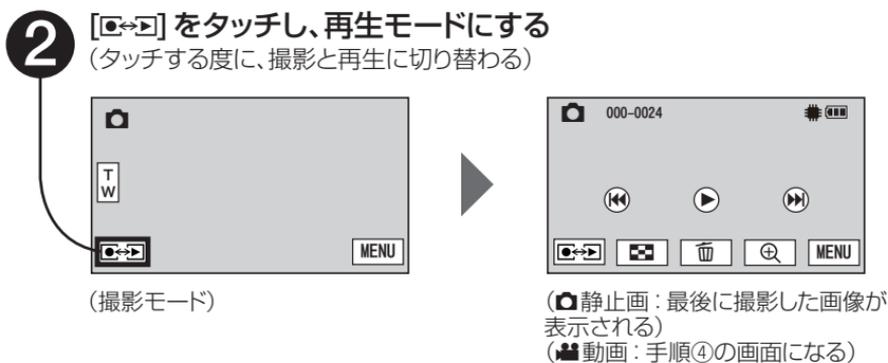
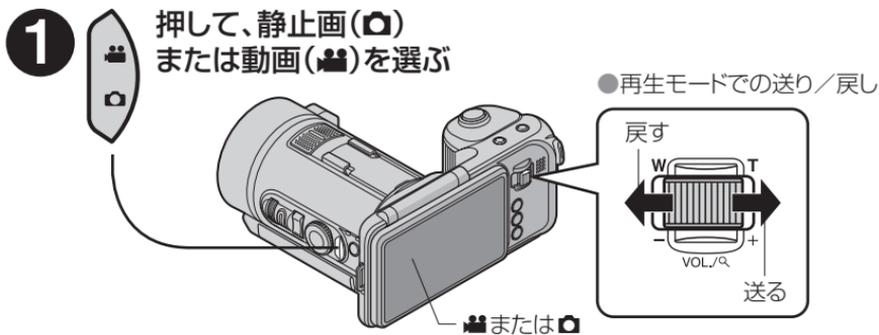
（タッチする度に、撮影と再生に切り替わる）

（撮影モード）

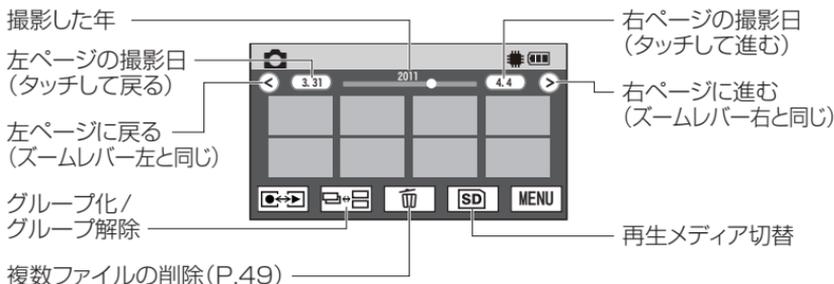
（📷静止画：最後に撮影した画像が表示される）
（🎥動画：手順④の画面になる）

3 [▦] をタッチする

（一覧表示になる）

4 見たいファイルをタッチする

一覧表示
（サムネイル表示）

撮影した静止画や動画を、一覧表示から選んで再生できます。

■一覧表示での操作ボタン

■撮影日の情報を見るとき

➡DISP.ボタンを何度か押す（P.7）

■ファイルを削除するとき

➡[🗑]をタッチする

■ファイルが見つからないとき

➡再生メディア切替をタッチする

[SD]：SDカードに切り替わる

[内蔵メモリー]：内蔵メモリーに切り替わる

（選択したメディア内のファイルが表示されます）

■フチが緑の静止画（連写または2秒以内に撮った静止画のグループ）があるとき

➡[グループ化/解除]をタッチすると、すべての静止画が表示される（グループにまとめるには、再び[グループ化/解除]をタッチする）

■簡単なページ移動（ドラッグ操作）

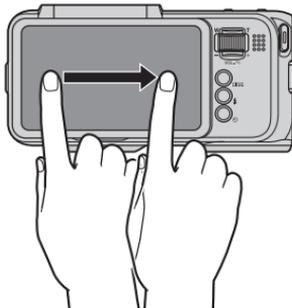
ズームレバー（左ページ）や画面上の操作ボタン（上図）を使うほかに、次の操作でもページを移動できます。

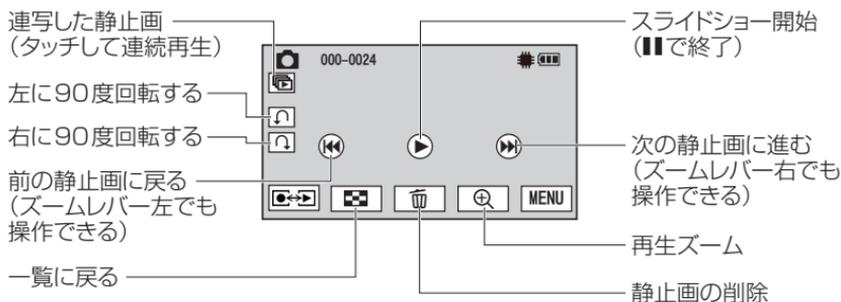
●左のページに移動するには

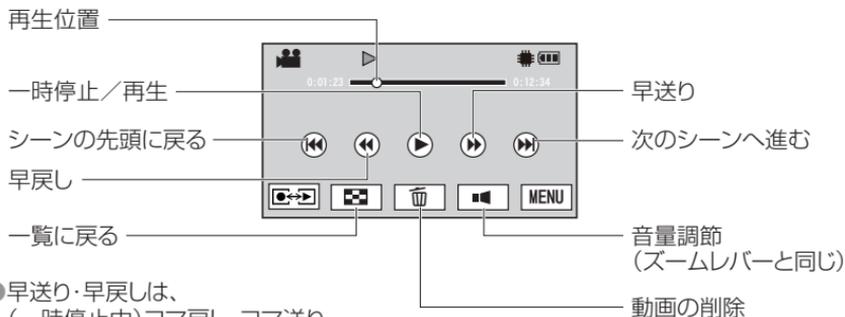
➡画面をタッチし、指を離さずに、ゆっくりと右に動かす（ドラッグする）

●右のページに移動するには

➡同様に、左に動かす（ドラッグする）

（左ページに移動する場合）

静止画や動画を見る（つづき）

静止画の再生中の操作ボタン

●スライドショー中は、逆順再生（◀）と正順再生（▶）が表示されます。

動画の再生中の操作ボタン

●早送り・早戻しは、
（一時停止中）コマ戻し・コマ送り
（一時停止中の長押し）スロー戻し・スロー送り
●早送り／早戻し中は、◀◀または▶▶ を押すごとに、再生速度が変化する。（±4段階）

■再生中の動画の１コマを静止画にするとき

➡一時停止中にシャッターボタンを押す
（静止画サイズは1920×1080に固定されます。また、記録メディアは元の動画と同じです）

お知らせ　●ボタンが画面から消えたときは、画面をタッチすると表示されます。

撮影 再生 4

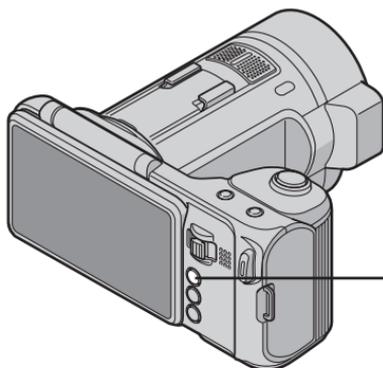
静止画が適切な明るさか確認する（ヒストグラム）

準備 ●再生モード
●🎥/📷ボタン：📷静止画モード

ヒストグラム
•縦軸：画素数
•横軸：明るさ

撮影時の情報

❶ 静止画を再生する（P.30）

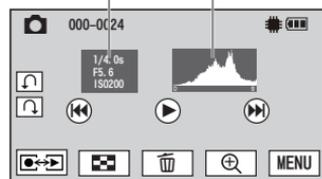
（P.30）

❷ DISP.ボタンを2度押す

（ヒストグラムが表示される）
●グラフの山が途切れない静止画が、最良の明るさ。

右端で途切れている
➡明るすぎる（白とび）

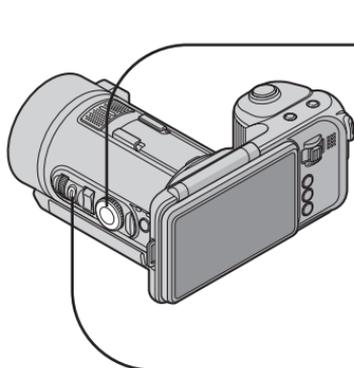
左端で途切れている
➡暗すぎる（黒つぶれ）

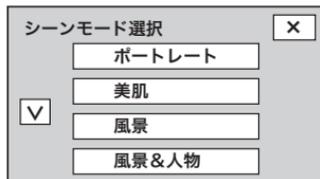
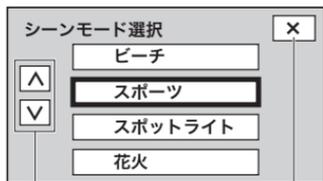
❸ DISP.ボタンをもう一度押す

（ヒストグラムが消える）

■明るさが適切ではないとき
➡手動で補正するには、EXPOSUREボタンを押す（P.38）
➡自動的に補正させるには、撮影ダイヤルを「i.AUTO」に合わせる（P.20）

撮影 再生 5

場面や状況に合わせて撮る（シーンセレクト）

準備 ●撮影モード

1 回して「SCN」に合わせる
（現在の設定が表示される）

2 SETボタンを押す
（シーンモードの一覧が表示される）

3 設定値をタッチする

（変更後の設定）

4 撮影する（P.22, 28）

撮りたいものに合わせて明るさやシャッタースピードを自動調節するには、撮影ダイヤル(P.20)をシーンセレクト(SCN)に合わせます。

■シーンセレクトの設定値

設定値	用途
ポートレート	背景をぼかして、人物を浮かび上がらせる
美肌	人物の肌をきれいに写す
風景	ピントを遠くに合わせ、画面全体をシャープに写す
風景&人物	ズームレバーを広角(W)側にすると、人物と風景の両方にピントを合わせます
夜景 (※)	夜景を自然に写す
夜景&人物 (※) (静止画のみ)	フラッシュを使って人物をくっきりと写し、背景の夜景もあざやかに写す
ナイトアイ (※)	薄暗いときに感度を上げ、フラッシュを使わずに寝顔などを写す
スノー	雪原の人物が暗く写るのを防ぎ、雪を自然な白さに写す
ビーチ	日差しの強いビーチで人物が暗く写るのを防ぎ、空や海の青さを自然に写す
スポーツ	動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に写す
スポットライト (※)	ライトの中の人物が明るくなりすぎない
花火 (※)	夜空の打ち上げ花火を写す
夕焼け	夕焼けを雰囲気ある色合いで写す

※静止画の場合、これらの設定値では、手ブレしやすくなるので三脚のご利用をおすすめします。さらに、連写(P.26)するときに連写速度が「L」になります。動画の場合も、ナイトアイは手ブレしやすいので三脚のご利用をおすすめします。

●ポートレート、美肌、夜景&人物、スポーツの場合、明るさに応じてフラッシュを発光します。それ以外では、フラッシュは発光しません。

撮影
再生

6 特定の被写体を撮る
（顔優先／タッチ優先）

人物を撮る（顔追尾・スマイルショット）

準備 ●撮影モード

1 回して[顔アイコン]に合わせる
（[顔アイコン]が表示され、人物の顔に枠が付く）
●枠は最大16個。

2 メニューの「タッチ優先AE/AF」を「顔追尾」にする（P.58）
●お買い上げ時は「顔追尾」に設定されています。

3 人物を1人選び、その人の顔の枠をタッチする
（人物が移動すると、顔を追って枠も移動する）

4 撮影する（P.22, 28）
（タッチした枠内に合わせて、フォーカスと露出が調節される）

■人物を選び直したいとき
➡撮りたい人物の顔の枠をタッチし直す

■笑顔の度合いを表示させるとき
➡メニューの「スマイル%」を「入」にする（P.59）
•笑顔の度合い（スマイル%）が数値で表示されます。（最大3箇所）
•表示を消すときは、「スマイル%」を「切」にします。

■笑顔を静止画で撮りたいとき
➡メニューの「スマイルショット」を「入」にする（P.59）
•枠の付いた人物が笑顔になる度に、自動的に静止画が撮影されます。

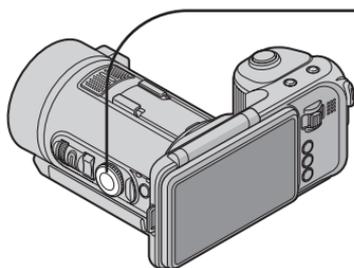
お知らせ
●撮影環境によっては、顔を検出できないことがあります。手順②のあとで顔を検出できなくなると、手順①の状態に戻ります。
●正しい効果が得られない場合は、撮影ダイヤルを「SCN」に合わせ、「ポートレート」「美肌」「風景&人物」「夜景&人物」などを選んでください。

特定の被写体を撮るときは、撮影ダイヤル(P.20)を
顔優先／タッチ優先(☺)に合わせます。特定の被写体を基準に、
明るさやフォーカスを自動的に調節します。

人物以外の被写体を撮る(色追尾・タッチエリア)

準備 ●撮影モード

設定値	用途
色追尾	画面のタッチした部分の色を認識して追いかける
タッチエリア	画面のタッチした領域を最適に撮る

■被写体を選び直したいとき
➡別の被写体をタッチする

1 回して☺に合わせる
(☺が表示され、人物の顔に枠が付く)

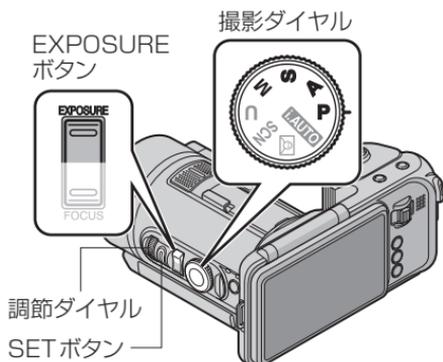
2 メニューで「タッチ優先AE/AF」を「色追尾」または「タッチエリア」にする
(人物の顔から枠が消える)

3 被写体をタッチする
(タッチした場所に枠が表示される)
●「色追尾」の場合、被写体が移動すると枠も移動します。

4 撮影する(P.22, 28)
(枠内に合わせて、フォーカスと露出が調節される)

お知らせ
●色追尾の場合、追尾対象を見失うと枠が消えます。ただし、再び画面の中心に追尾対象の色を見つけると、枠が再表示され追尾を始めます。
●「タッチエリア」の場合、ズームを操作すると枠が消えます。被写体をタッチし直してください。
●画面の端にある被写体をタッチした場合、正しく認識しないときがあります。このようなときは、被写体が中央に寄るように構図を変えてから、タッチしてください。
●撮影環境によっては、「色追尾」を選んでも被写体を追尾できないことがあります。

撮影 影
再生 生 7

手動で調節して撮る

お知らせ

●マニュアル(M)で絞りとシャッタースピードを調節すると、適切な露出にならないことがあります。

P　露出(明るさ)を補正する(プログラムオート)

露出を調節すると、被写体の明るさに応じて「絞り」と「シャッタースピード」が自動的に調節されます。

❶ 撮影ダイヤルを「P」に合わせる
(露出が自動的に補正される)

■さらに露出を手動で補正するには
(1) EXPOSUREボタンを押す
(2) 調節ダイヤルで数値を変更し、SETボタンを押す

M　絞りとシャッタースピードを同時に調節する(マニュアル)

絞りとシャッタースピードを調節すると、露出(明るさ)が決まります。

❶ 撮影ダイヤルを「M」に合わせる

❷ 調節ダイヤルで「シャッタースピード」の数値を変更し、SETボタンを押す

❸ 調節ダイヤルで「絞り」の数値を変更し、SETボタンを押す

シャッタースピード･絞り･露出(明るさ)を手動で調節して撮影できます。
これらは、動画と静止画で別々に設定します。

A　絞りを調節する(絞り優先)

「シャッタースピード」が自動的に調節され、適切な露出になります。

❶ 撮影ダイヤルを「A」に合わせる

❷ 調節ダイヤルで数値を変更する

F2.8

☆ワンポイント♪
絞りの数値を小さくすると、背景がボケて、人物が引き立ちます。

■露出を補正するには

(1) EXPOSUREボタンを押す
(2) 調節ダイヤルで数値を変更し、SETボタンを押す

S　シャッタースピードを調節する(シャッタースピード優先)

「絞り」が自動的に調節され、適切な露出になります。

❶ 撮影ダイヤルを「S」に合わせる

❷ 調節ダイヤルで数値を変更する

1/4000

☆ワンポイント♪
シャッタースピードの数値を小さくすると、動きの速い被写体でもブレずに写せます。

■露出を補正するには

(1) EXPOSUREボタンを押す
(2) 調節ダイヤルで数値を変更し、SETボタンを押す

手動で調節して撮る（つづき）

よく使う機能の設定値を保存する（ユーザー設定）

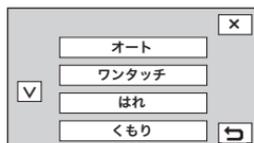
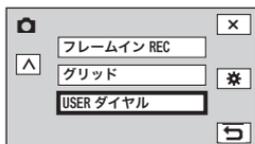
準備 ●撮影モード

絞り・シャッタースピードなどを調節する場合、同じ設定値を繰り返して使うときは、設定値を保存しておくと設定を簡単に再現できます。
撮影ダイヤルのユーザー設定（U）に、動画と静止画で別の設定値を保存できます。

❶ [MENU] をタッチする

❷ [USERダイヤル] をタッチする

❸ 設定する項目をタッチする

❹ 設定値をタッチする
（図はホワイトバランスの場合）

●「絞り」と「シャッタースピード」の場合、[マニュアル] をタッチしたときは、続いて [∧][∨] をタッチして設定値を選び、[決定] をタッチします。

❺ ほかの項目も設定するときは、手順❸〜❹を繰り返す

❻ [×] をタッチする

❼ 撮影ダイヤルを「U」に合わせる（P.20）

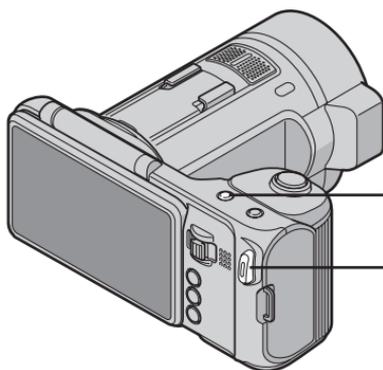
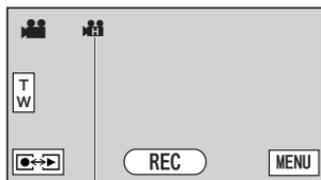
■設定できる項目

項目名	動画/静止画	参照
シャッタースピード	両方	P.39
絞り	両方	P.39
ホワイトバランス	両方	P.58
ISO感度	静止画のみ	P.60
感度アップ	動画のみ	P.63

撮影 再生 8

スローモーションを撮る（ハイスピード撮影）

ゴルフのスイングなど動きの速い被写体をスローモーションで見たいときは、ハイスピード撮影機能を使います。（5倍速（300fps）で撮影します。）

準備 ●撮影モード
●動画/静止画ボタン：動画モード

❶ ハイスピードボタンを押す

ハイスピード撮影表示

❷ 押す（P.28）
（撮影を開始する）
（もう一度押すと停止する）

■通常の撮影に戻すとき

➡もう一度ハイスピードボタンを押す（ハイスピード撮影表示が消える）

■動きの遅いものを撮るとき（花が咲く様子など）

➡メニューで「タイムラプス撮影」を設定して撮影する（P.63）

■ハイスピード撮影の動画を再生するとき

➡実際の1/5の速度のスローモーションになる

お知らせ
- 「動画画質」（P.62）の設定に関わらず、画質「640×360/60p」で撮影されます。
- 小さな解像度で撮影するため、ほかの動画より画像が粗くなります。さらに、音声は記録されません。
- 通常の撮影より暗くなるため、三脚を使用し、なるべく明るい場所で「感度アップ」（P.63）を「オート」にして撮影することをおすすめします。

撮影 再生 9

テレビで見る

準備 ●🎥/📷ボタン：どちらでも
●テレビの電源を入れる
●お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください

1 テレビに接続する

2 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子からの入力に切り換える

3 再生する(P.30)

■テレビの表示が不自然なとき
●テレビに正常に表示されない
➡HDMI miniケーブルを抜き差しする
➡本機の電源を入れ直す
●テレビに縦長に映る
➡共通メニューの「ビデオ出力」を「4：3」(P.67)

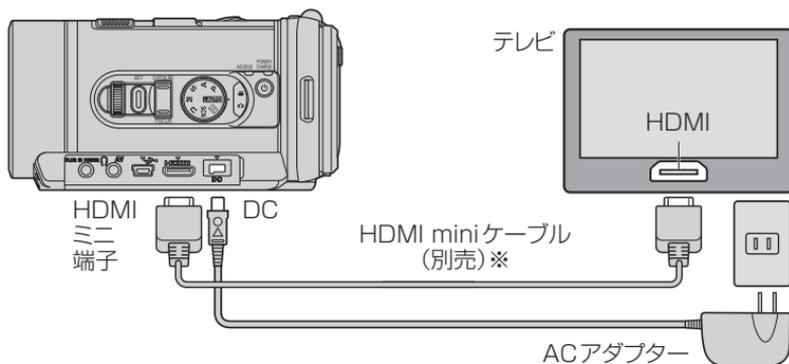
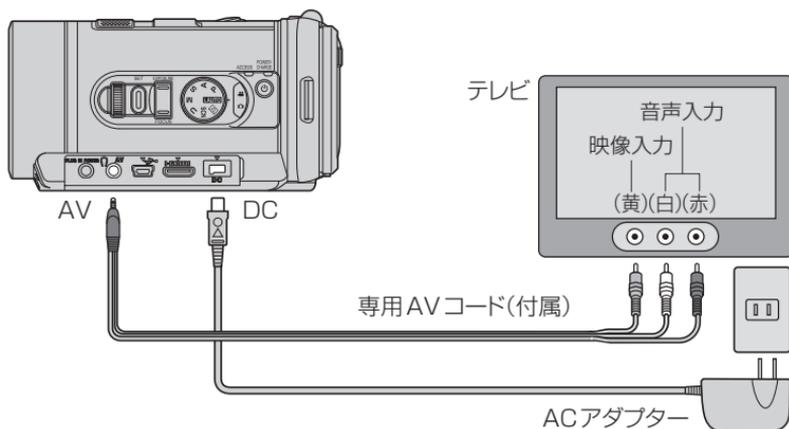
●テレビに横長に映る
➡テレビ側で画面を調整する

ハイビジョンテレビに接続する
HDMI端子

従来型テレビに接続する
AV端子

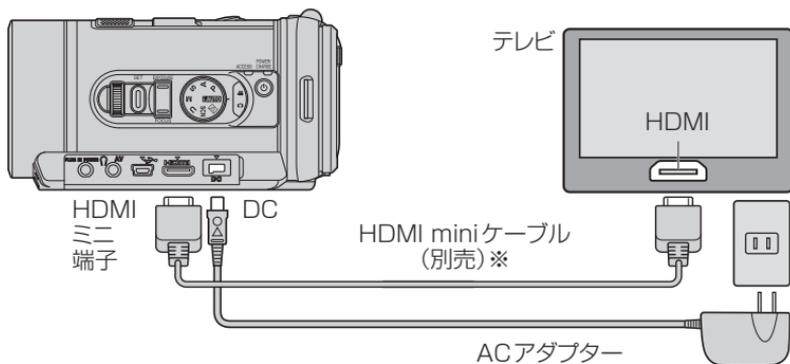
ハイビジョンテレビをお使いの場合、HDMI miniケーブル（別売）をお使いください。

※High Speed HDMI Cableをご使用ください。

撮影 再生 10 テレビとのHDMI連動機能を使う

HDMI CEC（Consumer Electronics Control）規格に対応するテレビをお使いの場合、本機とテレビを連動させることができます。

準備
●テレビのHDMI機器制御機能を有効にする
●🎥/📷ボタン：どちらでも
●再生モード
●共通メニューの「HDMI機器制御」を「入」にする（P.67）
（お買い上げ時は「入」に設定されています）
●お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください

1 HDMI miniケーブルでテレビに接続する

（テレビの電源が入り、本機の画面がテレビに表示される）

※High Speed HDMI Cableをご使用ください。

■電源を切るとき

➡テレビのリモコンを使って、テレビの電源を切る
（連動して本機の電源も切れる。本機が記録中やフォーマット中のときは、電源が切れない場合があります）

■本機が正常に動作しないとき

➡USBケーブルを使用しているときは本機の電源を切り、USBケーブルを取りはずす
➡テレビの電源を入れたまま、本機の電源を入れ直す
➡共通メニューの「HDMI機器制御」を「切」にする（P.67）
（HDMI CEC規格に対応したすべてのテレビとの接続において、本機の動作を保証するものではありません）

インテリジェントオートの画面表示

撮影ダイヤル（P.20）をインテリジェントオート（i.AUTO）に合わせると、撮影状況に合わせて、絞りやフォーカスが自動調整されます。

次の表のように、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

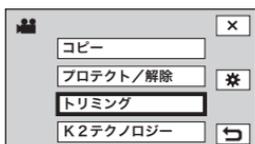
表示アイコン	用途
	肌を美しく撮影します。
	人物を自然に表現できるように撮影します。
	遠景にピントが合い、シャープで色鮮やかな映像になります。
	暗いところでも、全体的にノイズを抑えて撮影します。
	全体的にノイズを抑え、夜景を忠実に表現するように撮影します。
	かなり明るい環境においても、なるべく色飛びせずに撮影します。
	近接の被写体にピントを合わせて撮影します。
	木々の緑を鮮明に撮影します。
	夕暮れの様子を自然な色で撮影します。
	逆光で被写体が暗く写ることを防ぎます。
	全体的にノイズを抑えつつ、人物を自然に表現できるように撮影します。
	暗い環境においても、近接の被写体にピントを合わせて撮影します。

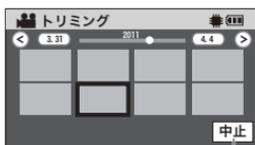
保存
削除 1

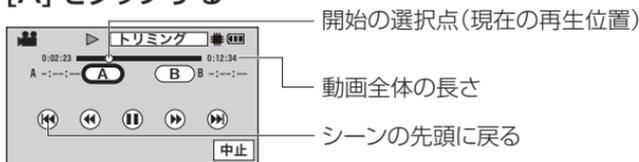
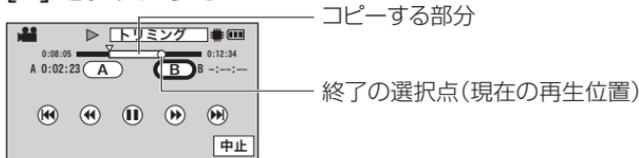
動画の一部をコピーする(トリミング)

準備 ●🎥/📷ボタン：🎥動画モード
●再生モード

1 [MENU] をタッチする

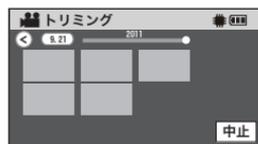
2 「トリミング」をタッチする

3 動画を選んでタッチする

●動画の再生中に手順①～②を行うと、右側の画面がすぐに表示されます。

動画の必要な部分だけをコピーし、新しい動画として保存できます。

4 コピーを始める位置で一時停止し、[A] をタッチする

5 再生したあと、コピーを終える位置で一時停止し、[B] をタッチする

6 [決定] をタッチする

7 [はい] をタッチする

8 「終了しました」と表示されたら、[OK] をタッチする

(コピーした動画が一覧表示に追加される)

■終了するとき ➡ [中止] をタッチする

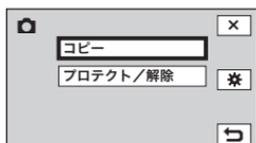
お知らせ ●選択点は、選んだ場面から多少ずれることがあります。

保存削除 2

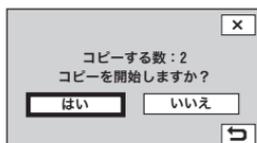
ファイルをSDカードにコピーする

準備 ●🎥/📷ボタン：どちらでも
●再生モード

1 [MENU]をタッチする

2 [コピー]をタッチする

3 コピーするファイルをタッチして指定する

4 [決定]をタッチする

5 [はい]をタッチする

（コピーが始まる）

6 コピーが終わったら[OK]をタッチする

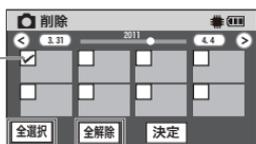
お知らせ ●SDカードのファイルは、内蔵メモリーにコピーできません。

保存 削除 3

ファイルを削除する

準備 ●🎥/📷ボタン：どちらでも
●再生モード：一覧表示

❶ [🗑] をタッチする

❷ 削除するファイルをタッチして指定する

すべて解除
すべて指定
指定したファイルに✔がつく

❸ [決定] をタッチする

❹ [実行する] をタッチする

（削除が始まる）

❺ 削除が終わったら [OK] をタッチする

■フチが緑色の静止画（グループ）を削除するとき

（1）グループをタッチする。
（グループ内のファイルが表示されます）
（2）削除するファイルに✔マークをつける。
・すべて削除するときは[全選択]をタッチする。
（3）[↩]をタッチする。
（4）手順③〜⑤の操作をする。

■再生中のファイルを削除するとき

➡再生中の画面で[🗑]をタッチし[はい]をタッチする

■誤操作による削除を防ぎたいとき（プロテクト）

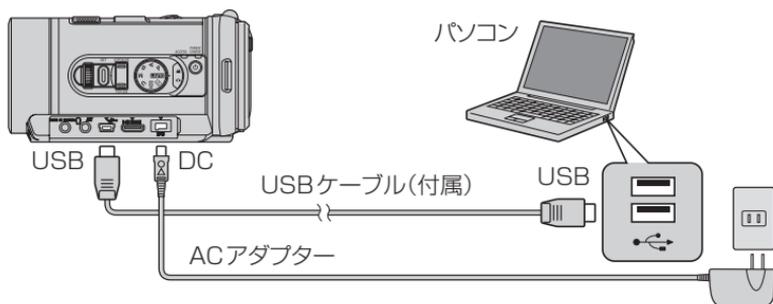
（1）メニューの「プロテクト／解除」を選ぶ。
（2）ファイルに✔マークをつける。
（3）[決定]をタッチする。
（ファイルに🔑マークがついて保護されます）

■プロテクトを解除するとき

➡上と同じ操作で✔マークを消し、ファイルから🔑マークを消す

パソコン 1 パソコンにバックアップする

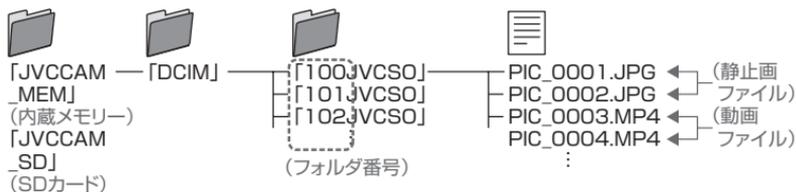
準備 ●パソコンのHDDに十分な空き容量があることを確認する

❶ USBケーブルとACアダプターを接続する

❷ 本機の電源を入れる(P.20)

(本機の内蔵メモリーとSDカードが、パソコンに表示される)

❸ 本機の内蔵メモリー(JVCCAM_MEM)またはSDカード(JVCCAM_SD)を、パソコンでダブルクリックする

- Windowsの場合:「コンピューター」(または「マイコンピュータ」)に表示されています。
- Macintoshの場合:デスクトップ(またはFinderのサイドバー)に表示されています。

❹ 「DCIM」フォルダ内のフォルダまたはファイル(動画や静止画)を、パソコンにコピーする

お知らせ ●上記のフォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをパソコンで行うと、本機で再生できなくなります。

撮影した動画や静止画を、パソコンに保存します。

■SDXCカードを使うとき

➡「SDXCカードを使うときはパソコンのOSを確かめる」（P.18）

■Windowsのパソコンから本機を取りはずすとき

（1）タスクトレイの「ハードウェアを安全に～」（ ）をクリックする。
（2）表示された画面の「～の取り出し」をクリックする。
（3）USBケーブルをパソコンから取りはずす。

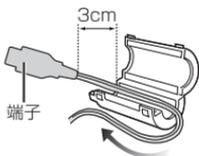
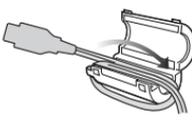
■Macintoshから本機を取りはずすとき

（1）デスクトップの「JVCCAM_MEM」と「JVCCAM_SD」をゴミ箱にドラッグ&ドロップする。
（またはFinderのサイドバーの ⏏ をクリックする。）
（2）USBケーブルをパソコンから取りはずす。

フェライトコアをUSBケーブルに取り付ける

本機をパソコンに接続する前に、付属のフェライトコアを付属のUSBケーブルに取り付けます。

❶ 両側のストッパーをはずし、開く

❷ 本機側の端子から約3cmの位置に取り付ける

❸ 1回巻き付ける

❹ ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

お知らせ

●本機とパソコンを接続したときに発生するノイズを軽減できます。

パソコン 2 Eye-Fiカードでファイルを転送する

Eye-Fiカードによる転送の概要

無線LAN機能がEye-Fiカードに内蔵されており、近くに利用できる無線LAN（自宅の無線LANルーターなど）があればカード内のファイルを転送します。

■転送先と無線LANについての設定方法

・Eye-Fiカードの付属ソフトで設定します。
・インターネット接続できる無線LAN環境が必要です。

■転送できるファイル

・Eye-Fiカード内にある動画と静止画を転送します。転送済みのファイルは転送し直しません。
・ファイル容量が2GBを超える動画は転送できません。（2011年1月現在）

■転送済みのファイル

・転送済みのファイルと未転送のファイルは、本機の画面で区別できません。

お知らせ

●撮影モードでは転送できません。撮影後は再生モードに切り替えてください。
●Eye-Fiカードについて詳しくは、Eye-Fi社のホームページをご覧ください。
http://www.eyefi.co.jp/
●国または地域によっては、Eye-Fiカードの使用が法律で禁じられています。Eye-Fi社にご確認ください。
●航空機の機内など、無線LANの利用が禁止されている場所では使用しないでください。
●接続状況によっては転送を中断したり、転送に時間がかかる場合があります。
●大容量のファイルを転送するときは、ACアダプターの使用をおすすめします。

SDカードの代わりにEye-Fiカード(市販)を使うと、カードに記録した動画や静止画をパソコンやWebに自動的に転送できます。

Eye-Fiカードを使う

準備 ●電源:切

1 Eye-Fiカードの付属ソフトをパソコンにインストールし、Eye-Fiカードを設定する

●詳しくは、Eye-Fiカードの取扱説明書をご覧ください。

2 Eye-Fiカードを本機のSDカードスロットに入れる(P.16)

3 電源を入れ、再生モードの一覧表示にする

4 再生メディア切替をタッチし、再生メディアをSDカード(Eye-Fiカード)にする

(再生メディアの表示が、Eye-Fiカード表示になる)

Eye-Fiカード表示
:Eye-Fiカード認識時
:転送待機 :転送中(表示が動く)

再生メディア切替

■ファイルを選んで転送するとき

(1) Eye-Fiカードをパソコンに接続し、付属ソフトで選択した画像だけ転送(選択転送モード)するよう設定します。

(2) 本機のメニューの「プロテクト/解除」で、転送するファイルにマークを付ける(P.49)。

➡ファイルを転送できる状況になると、マークを付けたファイルだけが転送される

■転送できないとき

(1) 再生モードにし、再生メディアをEye-Fiカードにする。

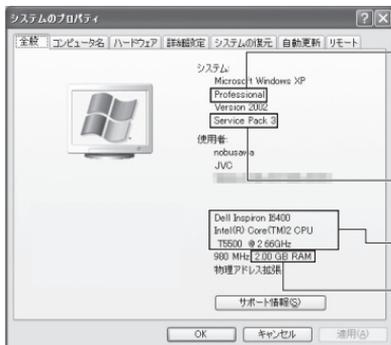
(2) 内蔵メモリのファイルを転送するときは、Eye-Fiカードにコピーする。

(3) Eye-Fiカードの設定をパソコンで確認する。

(4) Eye-Fiカードを他の機器に入れて、転送できるか確認する。

パソコン3 付属ソフトを使う

パソコンの性能を確かめる

スタートメニューの「コンピューター」(または「マイコンピュータ」)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■その他の動作条件

●グラフィック:次のいずれか
・Intel G45以降
・NVIDIA GeForce 8000シリーズ以降(8800GTX、8300を除く)
・ATI Radeon HD2000シリーズ以降(2900を除く)

動画や静止画を編集したり、iPodや動画共有サイト(YouTubeなど)に転送できます。

●DVDビデオに保存するとき
(Windows Vista Home PremiumまたはWindows 7の場合)
➡付属のLoiLoScope FXで編集し、Windows DVD MakerでDVDビデオを作る。
(Windows XPまたはWindows Vista Home Basicの場合)
➡市販のDVD作成ソフトをお使いください。

※LoiLoScope FXの操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
※DVDビデオにはハイビジョン画質で保存できません。標準画質になります。

●DVDライター、DVDレコーダー、ブルーレイレコーダーには、USB接続で動画や静止画をダビングできません。

お知らせ

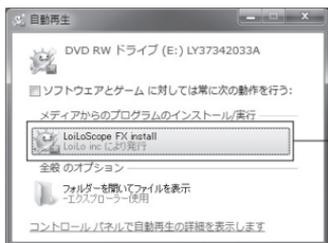
●左記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。
●H.264動画再生支援機能の付いたグラフィックカードに対応しています。(Windows XPを除く)
●マルチタッチ操作を行うには、Windows 7とマルチタッチ対応のディスプレイが必要です。
●詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。
●動作条件についてのより詳しくは、サポートホームページをご覧ください。

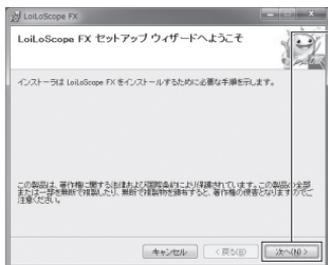
http://loilo.tv/product/15

パソコン 3（つづき）

付属ソフトを使う（つづき）

付属ソフトをインストールする

準備 ●付属のCD-ROMをパソコンのドライブに入れる

1 「LoiLoScope FX install」をクリック

●左の画面が表示されないときは、CD-ROM内の「LoiLoScopeFX」アイコンをダブルクリックする。

2 [次へ]をクリック

●以後、画面の指示に従って操作してください。
●ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、[はい]をクリックしてください。

お知らせ ●LoiLoScope FXの操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください。または、裏表紙の「付属ソフトLoiLoScope FXのご相談」にお問い合わせしてください。

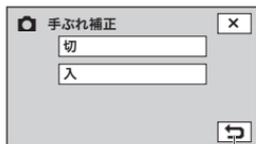
Macintoshをお使いの方は

アップル社のiMovie'11（動画）またはiPhoto（静止画）を使って、動画や静止画を再生・編集できます。

お知らせ
●iMovieまたはiPhotoの最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
●iMovieとiPhotoの操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。
●すべての環境で動作を保証するものではありません。

メニュー1 様々な機能を使う

ホワイトバランスや感度などを被写体や目的に合わせて調節したり、画質や手ぶれ補正などの設定を変えたりできます。

静止画と動画のメニューの操作

1 [MENU]をタッチする

2 メニュー項目をタッチする

● 静止画➡(P.58)

● 動画➡(P.62)

3 設定値をタッチする

■設定を終了するとき

➡[×]をタッチする

共通メニューの操作

1 [MENU]をタッチする

2 [✲]をタッチする

3 メニュー項目をタッチする(P.66)

4 設定値をタッチする

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき

➡共通メニューの「工場出荷」(P.66)

メニュー 2

静止画メニュー

撮影時の静止画メニュー

メニュー項目 （撮影ダイヤルの位置）	設定値と説明
ホワイトバランス （「M,S,A,P」のみ）	オート：自動的に自然な色合いになるよう調節する ワンタッチ：（下記） はれ：晴れた日の屋外で撮る くもり：曇りの日や日陰で撮る ハロゲン：撮影用ライトなどの照明下で撮る 蛍光灯１：昼白色蛍光灯の照明下で自然に撮る 蛍光灯２：昼光色蛍光灯の照明下で自然に撮る •色の不自然さが解消されないとき ①光源に当たっている白い紙をレンズの前に置き、画面一杯に表示する。 ②上記の「ワンタッチ」をタッチし続ける。 （ が点滅する） ③メニューが消えたら、画面から指を放す。
逆光補正 （「S,A,P」のみ）	切：補正しない 入：逆光で被写体が暗くなるのを補正する
測光エリア （「M,S,A,P,U」のみ）	マルチパターン：画面全体が最良の状態になるように、明るさを補正する センタースポット：中央が最良の状態になるように、明るさを補正する 中央重点：中央が最良の状態になり、その周辺も良い状態になるように、明るさを補正する
テレマクロ （「M,S,A,P,U」のみ）	切：通常の撮影（以下の距離まで近づける） 望遠(T)側：約1mまで 広角(W)側：約5cmまで 入：望遠側での接写（以下の距離まで近づける） 望遠(T)側：約60cmまで 広角(W)側：約5cmまで •接写しないときは、「切」にしてください。 「入」のままだと、画像がぼやけることがあります。
タッチ優先AE/AF （ のみ）	切：本機が自動的に選択した顔を基準に明るさとフォーカスを調節する 顔追尾：指定した顔を基準に調節する（P.36） 色追尾：指定した色を基準に調節する（P.37） タッチエリア：指定した場所を基準に調節する（P.37）

／ボタンで静止画モードにしたときのメニューです。撮影時と再生時で表示されるメニューが異なります。一部のメニューは、撮影ダイヤルが特定の位置にあるときのみ表示されます。

メニュー項目 （撮影ダイヤルの位置）	設定値と説明
スマイルショット （ のみ）	OFF 切：笑顔を見つけない ON 入：笑顔を見つけると、自動的に静止画を撮影する（P.36） •「タッチ優先 AE/AF」を「色追尾」または「タッチエリア」にすると、スマイルショットは使えません。
スマイル% （ のみ）	OFF 切：スマイル%を表示しない ON 入：笑顔を見つけると、顔のそばに笑顔の度合い（スマイル%）を表示する（P.36）
静止画サイズ	3648 4:3 3648×2736（10M） 2976 4:3 2976×2232（6.6M） 1600 4:3 1600×1200（1.9M） 640 4:3 640×480（0.3M） 3648 16:9 3648×2056（7.5M） 2976 16:9 2976×1672（4.9M） 1920 16:9 1920×1080（2M） •アイコンに「16:9」とある静止画は、画面比が 16:9 です。お店でプリントすると、両端が切られることがあります。
静止画画質	ファイン：高画質（撮影可能枚数が少なくなる） スタンダード：標準画質（撮影可能枚数が多くなる）
AF エリア （「M,S,A,P,U」のみ）	マルチ：オートフォーカスし、フォーカスが合ったところに枠を表示する セレクト：フォーカスを合わせる場所をあらかじめ指定し、オートフォーカスする •「セレクト」を選ぶと、フォーカスを合わせる場所を指定する９個の枠が表示されます。フォーカスを合わせる場所をタッチしてください。
AF 補助光	OFF 切：補助光を点灯しない ON 入：シャッターボタンを半押しすると補助光を点灯し、フォーカスが合うと消灯する •マニュアルフォーカスでは点灯しません。 •周囲の明るさによっては点灯しません。

静止画メニュー（つづき）

撮影時の静止画メニュー（つづき）

メニュー項目 （撮影ダイヤルの位置）	設定値と説明
AF動作 （「M,S,A,P,U,SCN」のみ）	AF-S シングルAF：静止しているものを撮るとき（常にフォーカス固定で、シャッターボタンを半押しした直後にフォーカスを合わせる） AF-C コンティニュアスAF：通常の撮影用（常にオートフォーカスで、シャッターボタンを半押しするとフォーカスを固定する） AF-F フルタイムAF：動いているものを撮るとき（常にオートフォーカス）
ISO感度 （「M,S,A,P」のみ）	A オート：周囲の明るさに応じて調節する 100 ISO100：ISO100フィルム相当の感度 200 ISO200：ISO200フィルム相当の感度 400 ISO400：ISO400フィルム相当の感度 800 ISO800：ISO800フィルム相当の感度 1600 ISO1600：ISO1600フィルム相当の感度 3200 ISO3200：ISO3200フィルム相当の感度 6400 ISO6400：ISO6400フィルム相当の感度 •感度の数値を上げると、明るくなりますが、ノイズで粗くなります。
手ぶれ補正	OFF 切：設定しない ON 入：手ぶれによる画像のブレを低減する •シャッターボタンを半押ししたときに、手ぶれを補正します。 •三脚などで固定して撮影するときは ➡「切」にする（「入」では逆に不自然な映像になる） •手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。
フレームインREC	OFF 切：被写体を検知しない □ 1枚撮影：被写体を検知し、自動的に撮影する 連写：被写体を検知する約1秒前から3秒分連写する（中速連写に固定） •被写体を検知する度に撮影します。 •画面に枠を表示し、枠内の明るさの変化によって被写体を検知します。そのため、被写体以外（光の反射など）によって明るさが変化したときも撮影します。 •デジタルズーム、セルフタイマー、手ぶれ補正は利用できません。シャッタースピード、絞り、明るさは調節できません。

🎥／📷ボタンで📷静止画モードにしたときのメニューです。撮影時と再生時で表示されるメニューが異なります。一部のメニューは、撮影ダイヤルが特定の位置にあるときのみ表示されます。

メニュー項目（撮影ダイヤルの位置）	設定値と説明
グリッド（動画の設定と連動）	OFF 切：グリッドを表示しない ON 入：被写体の傾きがわかりやすくなるように、格子状の線（グリッド）を表示する •被写体がグリッドと平行になるように本機を構えると、被写体を傾けずに撮影できます。 •グリッドは撮影されません。
USERダイヤル	シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、ISO感度の設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにする ➡「よく使う機能の設定値を保存する」（P.40）

再生時の静止画メニュー

メニュー項目	設定値と説明
コピー	内蔵メモリーからSDカードに静止画をコピーする ➡「ファイルをSDカードにコピーする」（P.48）
プロテクト／解除	誤操作による削除から静止画を保護する ➡「ファイルを削除する」（P.49） •Eye-Fiカードを使う場合、Eye-Fiカードの設定によっては、転送するファイルを指定できます（P.53）。

メニュー 3

動画メニュー

撮影時の動画メニュー

メニュー項目 （撮影ダイヤルの位置）	設定値と説明
ホワイトバランス （「M,S,A,P」のみ）	•光源によって色合いを調節する ➡静止画のメニューの「ホワイトバランス」（P.58）
逆光補正 （「S,A,P」のみ）	•逆光で被写体が暗くなるのを補正する ➡静止画のメニューの「逆光補正」（P.58）
テレマクロ （「M,S,A,P,U」のみ）	•特に近づいて撮影する（接写） ➡静止画のメニューの「テレマクロ」（P.58）
タッチ優先 AE/AF （ のみ）	•明るさやフォーカスを調節する際の基準を指定する ➡静止画のメニューの「タッチ優先 AE/AF」（P.58）
動画画質	1080 UHR HD 1080/60p(UHR)：最高画質 1080 HR HD 1080/60p(HR)：高画質 720 HD 720/60p：標準画質 iFrame iFrame：アップル社の iMovie'11 で利用するとき（540/30p）
ズーム倍率	•ズーム倍率は、画質によって異なります。 画質 1080 UHR 1080 HR ／ 画質 720 10倍光学： 1～10倍 ／ 1～10倍 16(15)/23倍ダイナミック：11～16倍※ ／ 11～23倍 64倍デジタル： 17～64倍 ／ 24～64倍 ※「手ぶれ補正」が「入（A.I.S.）」の場合、11～15倍になります。 •画質「iFrame」では「ズーム倍率」を設定できません。最大10倍までの光学ズームを利用できます。 •どのズーム倍率を選んでも、10倍までは光学ズームを使います。 •「64倍デジタル」を選んでも、ダイナミックズームを使えます。 •デジタルズームでは画質が劣化することがあります。ダイナミックズームはデジタル処理を行いますが、デジタルズームと異なり画質が劣化しません。

／ボタンで動画モードにしたときのメニューです。撮影時と再生時で表示されるメニューが異なります。一部のメニューは、撮影ダイヤルが特定の位置にあるときのみ表示されます。

メニュー項目（撮影ダイヤルの位置）	設定値と説明
手ぶれ補正	切：設定しない 入：手ぶれによる動画のブレを低減する 入(A.I.S.)：動画のブレをさらに低減する •三脚などで固定して撮影するときは ➡「切」にする（「入」では逆に不自然な映像になる） •手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。 •「入(A.I.S.)」にすると、ダイナミックズームの最大倍率が抑えられます。
感度アップ（「M,S,A,P」のみ）	OFF 切：明るさを電気的に増やさない 6dB ＋6dB：暗いところで被写体を明るくする（増量：極少） 12dB ＋12dB：暗いところで被写体を明るくする（増量：小） 18dB ＋18dB：暗いところで被写体を明るくする（増量：中） AGC AGC：暗いところで被写体を明るくする（増量：大） AGCS オート：暗いところで被写体を明るくする（増量：特大） •「オート」に設定すると、暗いところではシャッタースピードが1/30になります（オートスロー）。そのため、被写体の動きが不自然になることがあります。
タイムラプス撮影	OFF 切：タイムラプス撮影（微速度撮影）をしない 1 SEC 1秒間隔：1分を1秒に縮めて撮影する ➡再生時の速度は60倍 5 SEC 5秒間隔：5分を1秒に縮めて撮影する ➡再生時の速度は300倍 40 SEC 40秒間隔：40分を1秒に縮めて撮影する ➡再生時の速度は2,400倍 •タイムラプス撮影中は、一時的に画質が「HD 1080/60p（UHR）」になります。 •設定した間隔で1コマずつ撮影します。長い時間をかけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生できます。 •音声は記録されず、ズームは使えません。 •実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。 •撮影開始から99時間後に自動的に撮影を停止します。 •三脚とACアダプターを使うことをおすすめします。

動画メニュー（つづき）

撮影時の動画メニュー（つづき）

メニュー項目 （撮影ダイヤルの位置）	設定値と説明
フレームインREC	OFF 切：被写体を検知しない ON 入：被写体を検知し、自動的に撮影する •被写体を検知する度に撮影します。 •画面に枠を表示し、枠内の明るさの変化によって被写体を検知します。そのため、被写体以外（光の反射など）によって明るさが変化したときも撮影します。 •デジタルズーム、手ぶれ補正、ハイスピード撮影、タイムラプス撮影は利用できません。シャッタースピード、絞り、明るさは調節できません。
ウィンドカット	OFF 切：低減しない ON 入：風の音を低減する
グリッド （静止画の設定と連動）	•被写体の傾きがわかりやすくなるように、格子状の線（グリッド）を表示する ➡静止画のメニューの「グリッド」（P.61）
USERダイヤル	シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、感度アップの設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにする ➡「よく使う機能の設定値を保存する」（P.40）
マイクレベル表示	OFF 切：表示しない ON 入：マイクレベルを表示する •表示が赤くならないよう「マイクレベル設定」で調節すると、適切な音量になります。
マイクレベル設定	+2 ＋2：マイクの入力レベルを上げる +1 ＋1：入力レベルを少し上げる ±0 0：入力レベルを変更しない -1 −1：入力レベルを少し下げる -2 −2：マイクの入力レベルを下げる 外部マイクの接続時は、外部マイクの感度を調節できます。
ヘッドホン音量調整	ヘッドホンの音量を増減する。 •画面の［＋］［−］をタッチします。 •再生時はズームレバーで増減できます。 •ヘッドホンを接続する前に、あらかじめ設定できます。

🎥／📷ボタンで🎥動画モードにしたときのメニューです。撮影時と再生時で表示されるメニューが異なります。一部のメニューは、撮影ダイヤルが特定の位置にあるときのみ表示されます。

再生時の動画メニュー

メニュー項目	設定値と説明
コピー	内蔵メモリーからSDカードに動画をコピーする ➡「ファイルをSDカードにコピーする」(P.48)
プロテクト／解除	誤操作による削除から動画を保護する ➡「ファイルを削除する」(P.49) • Eye-Fiカードを使う場合、Eye-Fiカードの設定によっては、転送するファイルを指定できます(P.53)。
トリミング	動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存する ➡「動画の一部をコピーする」(P.46)
K2テクノロジー	OFF 切：動画ファイルに記録された音を、そのまま再生する ON 入：耳では聞き取りづらい小さい音や高い音など記録しにくい音声を補完して、聞き取りやすい音声で再生します。

メニュー 4 共通メニュー

メニュー項目	設定値と説明
時計合わせ	**日時設定**：現在時刻を修正するときや、設定し直すとき **地域設定**：海外で使うとき(P.13) **サマータイム設定**：旅行先でサマータイムが実施中のとき、「入」にする
日付表示配列	年月日の並び順と、時間表示(24h／12h)を設定する
LANG.／言語	メニューなどの言語を切り替える
モニター明るさ	4：画面を最も明るくする 3：標準的な明るさにする 2：少し暗くする 1：最も暗くする オート：屋外では「4」に、屋内では「3」に切り替える ➡屋外に出ると「LCD ▲」が約3秒間表示され、▲が点滅します。 ➡屋内に入ると「LCD ▼」が約3秒間表示され、▼が点滅します。
オートパワーオフ	切：5分放置しても電源が切れない 入：電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になる
操作音	切：操作時およびシャッターボタンを押したときに音が出ない シャッター音：シャッターボタンを押したときに音が出る すべて：操作時およびシャッターボタンを押したときに音が出る
高速起動	切：高速起動しない 高速1：バッテリー消費を抑える(電源を切るとズーム位置が変化する) 高速2：電源を切ってから5分以内は、電源ボタンを押すとすぐ起動する
タッチパネル調整	タッチパネルをタッチしたとき、反応する位置がずれている場合に、先の鋭くないもの(SDカードの角など)で軽くタッチして調整する
ファームウェア更新	本機の機能を最新版に更新できます。詳しくは、ビクターのホームページをご覧ください。(新しいファームウェアがつくられるまで、ホームページに説明はありません)
工場出荷	「時計合わせ」以外のすべての設定をお買い上げ時に戻す

本機について設定できます。撮影時／再生時、動画／静止画を問わず、メニューの[✱]をタッチすると表示されます(P.57)。

メニュー項目	設定値と説明
テレビ表示	OFF 切：テレビに、アイコンや日時を表示しない ON 入：本体の画面に出るアイコンや日時をテレビに表示する
ビデオ出力	4:3 4:3：従来型のテレビ(4:3)に接続するとき 16:9 16:9：ワイドテレビ(16:9)に接続するとき
HDMI出力	A オート：通常はオートに設定する P 480p：オートで正常に表示されないとき •1080p対応テレビにHDMIケーブルで接続する場合、「オート」に設定すると最良の映像(1080p信号)を出力します。
HDMI機器制御	OFF 切：連動しない ON 入：HDMI CEC規格に対応するテレビと連動する ➡「テレビとのHDMI連動機能を使う」(P.44)
静止画記録メディア	内蔵メモリー：静止画を本機の内蔵メモリーに記録する SD SDカード：静止画をSDカードに記録する
動画記録メディア	内蔵メモリー：動画を本機の内蔵メモリーに記録する SD SDカード：動画をSDカードに記録する
メモリーフォーマット	ファイル：内蔵メモリーのすべてのファイルを消去する ファイル+管理番号：内蔵メモリーのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号を「100」から始める
SDフォーマット	SDカードのすべてのファイルを消去する ➡「メモリーフォーマット」と同じ •SDカードが入っていないときは、選べません。
メモリーデータ消去	本機を廃棄または譲渡するときに実行する •繰り返すことで、データの復元をさらに困難にできます。 •終了するまで時間がかかります。ACアダプターを接続してください。

故障かな!?と思ったら…

使い方に困ったり、故障かもしれないと感じたら、まず以下の項目をご確認ください。

❶ 以下の表 の「こんなときは」から探す

❷ ビクターホームページの最新の製品Q&A情報で探す

➡http://www.victor.co.jp/dvmain/support/

❸ 本機をリセットする

■リセット方法

(1) 電源を切る。

(2) バッテリーとACアダプターをいったん取りはずす。

※本機はデジタル機器であるため、静電気や妨害ノイズによって、エラーが表示されることや正常に動作しないことがあります。

これらを確認しても解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店またはビクターサービス(裏表紙参照)にお問い合わせください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
カード	SDカードが入らない	●SDカードの向きを確認する。	16
	パソコンにSDXCカードが認識されない	●パソコンのOSを確認する。	18
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。	15 14
	電源/充電ランプが点滅する	●バッテリーの充電中を示しています。	15

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
撮影中	撮影できない	● 🎥/📷 ボタンでモードを切り替える。 ●画面左下の [●↔▶] をタッチして撮影モードにする。	20 20
	自動でフォーカスが合わない（ピントが合わない）	●レンズの表面をクリーニングクロスできれいに拭く。 ●「フォーカス」をオートにする。 ●暗いところや明暗差の少ないものを撮影するときは、「マニュアルフォーカス」を調節する。	– 27 27
	デジタルズームできない	●メニューの「ズーム倍率」を「64倍デジタル」にする。 ●静止画モードのときや、動画の画質が「iFrame」のときは、デジタルズームできません。	62 –
	勝手に撮影が停止した	●電源を切り、しばらく経ってから電源を入れる。または、ACアダプターや新しいバッテリーを使う。（バッテリーの温度が上がると、電源の保護のため自動的に停止します。） ● 12時間連続撮影すると撮影が停止します。	– 28
	被写体が暗い	●動画の場合、メニューの「感度アップ」を使う。 ●静止画の場合、メニューの「ISO感度」を「800」以上にする。 ●静止画の場合、フラッシュを使う。 ●撮影ダイヤルを「SCN」に合わせ、「ナイトアイ」を使う。（静止画では「夜景」も効果があります。） ●メニューの「逆光補正」を使う。 ●露出（明るさ）を「+」側に補正する。	63 60 22 34 58 38

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●撮影ダイヤルを「SCN」に合わせ、「スポットライト」を使う。 ●露出(明るさ)を「－」側に補正する。	58 34 38
	被写体の色が不自然(赤っぽい、青っぽいなど)	●メニューの「ホワイトバランス」を調節して撮影する。 ・光源に合わせて設定値を選ぶ。 ・「ワンタッチ」を選んで調整する。	58
	画面に明るい光の帯や光の玉が現われる	●本機の向きを変え、光源を画面に入れないようにする。 (明るい光源が画面周辺にあると光の帯や光の玉が現われることがありますが、故障ではありません。)	－
	ハイスピード撮影で画像が粗い、音が出ない	●ハイスピード撮影では、画像が粗くなります。 ●ハイスピード撮影では、音声は記録されません。	41 41
	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。	26 －
	実際の記録時間が目安とされている時間より短い	●動きの速い被写体を撮影したときなど、環境によっては記録時間が短くなります。	－

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	撮影ダイヤルをに合わせても、顔に枠がつかない	●メニューの「タッチ優先 AE/AF」を「顔追尾」にする。（「色追尾」または「タッチエリア」にしたときは、顔に枠がつきません。）	37
画面	バッテリー残量が正しく表示されない	●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ●AC アダプターを接続すると、バッテリー残量は表示されません。 ●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがあります。	– – –
画面	画面が見えにくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。 ●共通メニューの「モニター明るさ」を「4」にする。	– 66
画面	日付表示がでない	●（テレビで再生するとき）共通メニューの「テレビ表示」を「入」にする。	67
再生中	音や映像が途切れる	●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	–
再生中	撮影したはずの動画や静止画が一覧表示されない	●一覧表示の画面で再生メディア切替をタッチする。（別のメディアのファイルは表示されません。）	31

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	動きのあるシーンや明るさの変化があるシーンなどでモザイクノイズが入るか輪郭がぼやける	●画質「iFrame」で撮影しているときは、ほかの画質に変えて撮影する。	62
	動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い	●動画や静止画をパソコンなどに保存し、削除することをおすすめします。（撮影したファイルが多数あると、本機の反応が遅くなります。）	−
	HDMI miniケーブルでテレビに接続したとき、テレビに映像が正常に表示されない	●HDMI miniケーブルを抜き差しする。 ●本機の電源を入れ直す。（お使いのテレビの機種によっては、正常に表示されないことがあります。）	42 −
その他	充電中、ランプが点滅しない	●画面右上のバッテリー残量表示を確認するか、撮影モードでDISP.ボタンを押してバッテリー残量を確認する。（バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。） ●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。（範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。）	7 81

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
その他	画面の操作ボタンがきかない	●少し強めに指を押し当てながら操作する。 ●保護シートやシールを貼らない。 ●共通メニューの「タッチパネル調整」で調整する。	－ － 66
	本機が熱くなる	●故障ではありません。 (長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)	－
	YouTube、Facebook、Vimeoにアップロードできない	●利用するサービス(YouTube、Facebook、Vimeo)のアカウントを作成する。(アップロードには、それぞれのアカウントが必要です。) ●付属ソフトのサポートページ(http://loilo.tv/product/15)で「マニュアル」「FAQ」などを確認する。	－ －
	iTunesに転送できない	●iTunesをインストールする。 ●付属ソフトのサポートページ(http://loilo.tv/product/15)で「マニュアル」「FAQ」などを確認する。	－ －

■次の場合は故障ではありません

●太陽光が映ると、液晶画面が一瞬赤か黒になる。
●液晶画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
(液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります)

■正常に動作しないときは本機をリセットする

(1)電源を切る。(画面を閉じる)
(2)本機からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。
(3)共通メニューの「工場出荷」を実行する。

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください	ページ
時計を合わせてください	●時計を設定する。 ●ACアダプターを取り付けて、24時間以上充電してから、時計を設定する。	19 15
通信エラー	●ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。必ず、ビクター製のバッテリーをお使いください。	14
動画モードでは使えません	●共通メニューの「動画記録メディア」を「内蔵メモリー」にする。 ●SDカードを交換する。 ●上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、共通メニューの「SDフォーマット」を実行する。（データはすべて消えます。）	67 16 17
フォーマットされていません	●「OK」を選び、「フォーマットしますか?」の画面で「はい」を選ぶ。 （データはすべて消えます。）	17
フォーマットエラー データ消去エラー	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 ●本機の電源を入れ直す。	— —
カードへ記録できませんでした カードエラー	●本機の電源を入れ直す。 ●ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直す。 ●SDカードの端子の汚れを取り除く。 ●上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、共通メニューの「SDフォーマット」を実行する。（データはすべて消えます。）	— 14, 16 — 17

こんな表示	ここを確かめてください	ページ
内蔵メモリーへ記録できませんでした 内蔵メモリーエラー	●本機の電源を入れ直す。 ●上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、共通メニューの「メモリーフォーマット」を実行する。(データはすべて消えます。)	– 67
空き容量がありません	●パソコンなどに移す。 ●ファイルを削除する。 ●新しいSDカードに交換する。	50 49 16
プロテクトがかかっています	●メニューの「プロテクト/解除」で解除する。	49
カードがライトプロテクトされています	●SDカードのライトプロテクトスイッチを解除する。	–
このカードは、本機で記録、編集できません 未対応のシーン(ファイル)です	●本機で記録したファイルを使う。 (他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。本機で記録したファイルの場合、ファイルが壊れています。)	–
フォルダ数が制限を超えています シーン数(ファイル数)が制限を超えています	①パソコンなどにファイルまたはフォルダを移す。(バックアップします。) ②共通メニューの「メモリーフォーマット」または「SDフォーマット」で、「ファイル+管理番号」を選ぶ。(データはすべて消えます。)	50 67

こんな表示がでたら… (つづき)

こんな表示	ここを確かめてください	ページ
🎥 ファイルがありません	● 🎥/📷 ボタンでモードを切り替える。 ●一覧表示の画面で再生メディア切替をタッチし、もう一方のメディアに記録されていないか確かめる。	20 31
📷 ファイルがありません		

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。(損傷や故障の原因) ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 (汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因)

技術情報

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

他社製品の登録商標と商標について

・HDMI（High-Definition Multimedia Interface）と HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing, LLCの商標です。
・YouTubeとYouTubeロゴは、Google Inc.の商標および登録商標です。
・Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Macintosh、Mac OS X、iMovie、iPhotoは、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc. の登録商標です。
・Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
・Eye-Fiはアイファイジャパン株式会社の登録商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

著作権について

・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

使用上のご注意

本機について

●精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。
　記録や再生ができなくなります。

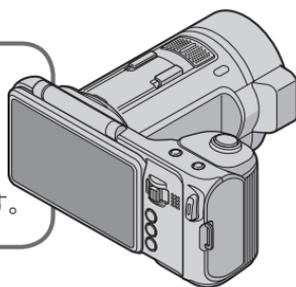
●本機やバッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
　内部の電池やバッテリーは、高温になると破裂することがあります。

●撮影したデータはパソコンなどに保存してください。
　データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンなどに定期的に保存することをおすすめします。

●MP4規格でハイビジョンの動画を記録・再生します。
　AVCHD規格・HDV規格・MPEG2方式のビデオカメラとは互換性がありません。

●指定された動作環境でご使用ください。(P.81)

液晶画面について

●先の鋭い物で押したりしないでください。
　傷がついたり割れる場合があります。
　2箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。

■本機やSDカードを廃棄/譲渡するときは、データの流出にご注意ください

●本機やパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。

●データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、本機(内蔵メモリー)やSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
　この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

●本機の機能を使って廃棄するには、P.67をご覧ください。

バッテリー(充電式電池)について

●正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。

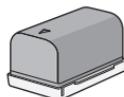
●ご購入時は充電されていません。充電してお使いください。

●低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせない)

●直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

●30%程度充電された状態(▭)で保存してください。

●半年に1度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態(▭)で保存してください。

●取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15〜25℃の乾燥したところで保管してください。

ACアダプターについて

●抜き差ししやすいコンセントに差し込んでください。
本機に異常が発生したときに、ただちにACアダプターを抜けるようにしてください。

バッテリーの処分について

●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ: 有限責任中間法人JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな?!と思ったら…」（P.68）にしたがって、まずはご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ハイブリッドカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

免責事項

- 本機や付属品、SDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

仕様

一般	
電源	ACアダプター使用時 ：DC11V バッテリー使用時 ：DC7.2V
消費電力	4.2W（モニター明るさ「3」の場合）
外形寸法(mm)	131×67×122（幅×高さ×奥行き：ショルダーストラップを含まず）
質量	本体 ：約430g 撮影時：約515g（バッテリーBN-VF815を含む）
動作環境	許容動作温度：0℃～40℃、許容保存温度：−20℃～50℃ 許容相対湿度：35%～80%

カメラ部・液晶部	
映像素子	1/2.3型 1062万画素
撮像エリア	動画 1080/60p： 576万画素（光学ズーム） 207～576万画素（ダイナミックズーム） 動画 720/60p： 504万画素（光学ズーム） 92～504万画素（ダイナミックズーム） 動画 iFrame： 504万画素（光学ズーム）
	静止画 998万画素
レンズ	F2.8～F4.5、f=6.7mm～67.0mm （35mmカメラ換算 動画 1080/60p：47.9mm～479mm 動画 720/60p, iFrame：51.2mm～512mm 静止画：38.5mm～385mm）
フィルター径	46mm（ネジピッチ0.75mm）
最低照度	4ルクス（シャッタースピード：1/30） 1ルクス（ナイトアイモード、シャッタースピード：1/2）
液晶画面	3型ワイド、23万画素、ポリシリコンカラー液晶
フラッシュ	推奨撮影距離：2m以内
フォーカス	オート、マニュアル、テレマクロ、9点マルチ、9点セレクト、顔認識、顔追尾、色追尾、タッチエリア
測光方式	マルチパターン、センタースポット、中央重点

仕様（つづき）

カメラ・液晶部（つづき）

項目		内容
ISO感度		静止画：オート、マニュアル（100, 200, 400, 800, 1600, 3200, 6400）
露出		インテリジェントオート（i.A）、プログラムオート（P）、絞り優先AE（A）、シャッタースピード優先AE（S）、マニュアル露出（M）
		露出補正　動画　：13Step、-6～+6level 静止画：1/3EVステップ、-2EV～+2EV
シャッタースピード	動画撮影時	オート時：1/60～1/4000 オートスローシャッター時：1/30～1/4000 ナイトアイ時：1/2～1/4000 ポートレートモード時：1/60～1/8000 マニュアル時：1/2～1/4000
	静止画撮影時	オート時：1/2～1/125（フラッシュ発光時）、 1/2～1/4000（フラッシュ非発光） マニュアル時：1/2～1/4000、2（花火モード）、 1/8000（ポートレートモード、フラッシュ非発光）
ズーム	動画撮影時	光学ズーム：10倍まで ダイナミックズーム：15/16倍まで（P.62） デジタルズーム：64倍まで
	静止画撮影時	光学ズーム：10倍まで
	静止画再生時	4倍まで
連写スピード	動画モードでの静止画撮影（※）	高速：約60枚/秒（1回の撮影で最大144枚） 中速：約15枚/秒（1回の撮影で最大144枚） 低速：約2枚/秒（最大値：無制限）
	静止画撮影時	高速：約30枚/秒（1回の撮影で最大103枚） 中速：約7枚/秒（1回の撮影で最大103枚） 低速：約2枚/秒（最大値：無制限）

※動画の撮影中は連写速度が一時的に「低速」に変更されます。

端子部

項目	内容
HDMI端子	HDMI Mini Connector
AV端子	映像：アナログ出力 音声：ステレオ、アナログ出力
マイク端子	φ3.5mmミニジャック：ステレオ、アナログ入力
ヘッドホン端子	φ3.5mmミニジャック：ステレオ、アナログ出力
USB端子	ミニUSB-Bタイプ、USB 2.0

ACアダプター(AP-V20)	
電源	AC 100V—240V、 50Hz/60Hz
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0℃〜40℃ (充電時は10℃〜35℃)
外形寸法 (mm)	78×34×46(幅×高さ×奥行き)(コードとACプラグを含まず)
質量	約100g

バッテリー(BN-VF815)	
電圧	DC 7.2V
容量	1460mAh
外形寸法 (mm)	30.5×32.5×52 (幅×高さ×奥行き)
質量	約85g

時計用電池	
種類	二次電池

静止画	
記録方式	JPEG準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	(P.84)
画質	ファイン/スタンダード
記録メディア	内蔵メモリー(32GB)、 市販のSDカード(SDカード、SDHCカード、SDXCカード)、 市販のEye-Fiカード

動画	
信号方式	デジタルハイビジョン方式
録画/再生方式	MPEG-4規格準拠 映像:MPEG-4 AVC/H.264 音声:AAC(2ch)
画質・解像度	(P.85)
音　質	48kHz、128kbps VBR
記録メディア	内蔵メモリー(32GB)、 市販のSDカード(SDカード、SDHCカード、SDXCカード)、 市販のEye-Fiカード

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

撮影時間／枚数の目安

静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

画面比4：3の静止画サイズ	画質	SDHCカード			SDXC	内蔵メモリー
		4GB	8GB	32GB	64GB	
3648×2736（10M）	ファイン	600	1300	5600	9999	5400
	スタンダード	1000	2200	8900	9999	8600
2976×2232（6.6M）	ファイン	1000	2000	8400	9999	8100
	スタンダード	1600	3300	9999	9999	9999
1600×1200（1.9M）	ファイン	3500	7100	9999	9999	9999
	スタンダード	5600	9999	9999	9999	9999
640×480（0.3M）	ファイン	9999	9999	9999	9999	9999
	スタンダード	9999	9999	9999	9999	9999

画面比16：9の静止画サイズ	画質	SDHCカード			SDXC	内蔵メモリー
		4GB	8GB	32GB	64GB	
3648×2056（7.5M）	ファイン	900	1800	7400	9999	7200
	スタンダード	1400	2900	9999	9999	9999
2976×1672（4.9M）	ファイン	1300	2700	9999	9999	9999
	スタンダード	2100	4400	9999	9999	9999
1920×1080（2M）	ファイン	3200	6700	9999	9999	9999
	スタンダード	5200	9999	9999	9999	9999
3200×1800（5.7M）（動画モード時）	ファイン	1100	2400	9700	9999	9500
	スタンダード	1800	3800	9999	9999	9999

※動画モード時の静止画撮影では、静止画サイズが3200×1800に固定されます。

動画の撮影可能時間の目安

画質	SDHCカード		SDXC	内蔵メモリー
	4GB	32GB	64GB	
HD 1080/60p(UHR)	10分	2時間	4時間	2時間
HD 1080/60p(HR)	20分	3時間	6時間	3時間
HD 720/60p	40分	5時間50分	11時間30分	5時間40分
iFrame	20分	2時間50分	5時間50分	2時間50分
ハイスピード撮影（※）	20分	3時間20分	6時間40分	3時間20分

※撮影したシーンの再生時間は撮影時間の5倍になります。1回の撮影は144分（再生時：12時間）で停止します。

撮影可能時間や撮影可能枚数は目安です。撮影環境や、お使いになるSDカード、バッテリーの状況によって異なることがあります。

静止画の撮影可能枚数の目安(バッテリー使用時)

充電済みの付属バッテリーで撮影できる枚数	320枚

※CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による下記の条件で測定した数値です。
(CIPA : Camera & Imaging Products Association)

・温度 : 25℃
・付属バッテリーを使用
・内蔵メモリーを使用
・静止画画質 : ファイン
・メニューの高速起動 : 切
・オートフォーカスで合焦時
・30秒間隔で1回撮影
・フラッシュを2回に1回発光
・10回に1回、電源入/切をする
・撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす(ズーム倍率10倍)

動画の撮影可能時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VF815	1時間10分	2時間20分

※共通メニューの「モニター明るさ」を「3」に設定したときの値です。
※実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなることがあります。(撮影予定時間の約3倍分を用意することをおすすめします)
※十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

動画の画質と解像度

画質	ビットレート(平均値)	解像度	伝送フレーム数(フレーム/秒)
HD 1080/60p(UHR)	35Mbps VBR	1920×1080p	60
HD 1080/60p(HR)	23Mbps VBR		
HD 720/60p	12Mbps VBR	1280×720p	
iFrame	24Mbps VBR	960×540p	30
ハイスピード撮影(※)	4Mbps VBR	640×360p	60

※ビットレートは再生時の値です。撮影時は20Mbps VBRになります。

別売アクセサリー

詳しくは、カタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF815

バッテリーチャージャー	AA-VF8

さくいん

英字

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

■製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

付属ソフトLoiLoScope FXのご相談

株式会社LoiLoユーザーサポートセンター
☎ 03-6741-9655
ホームページ http://loilo.tv/product/15

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター
0120-2828-17

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、次の電話番号をご利用ください
  ☎ 045-450-8950

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、または
ビクターサービス修理受付センター
にご相談ください。

ビクターサービス修理受付センター
☎ 0800-800-9928

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、次の電話番号をご利用ください
  ☎ 045-453-2960

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.80をご覧ください。

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

C1P 0111MNH-HT-VM